

交通網・都市基盤整備調査特別委員会 報告資料

令和4年7月1日

報告事項件名	頁
(1) 花畑周辺地域におけるバスの試験運行について	2
(2) 多様な交通手段の導入に向けた取組状況について	11
(3) 令和4年度足立区総合交通計画推進会議の開催について	18
(4) 【追加】日暮里・舎人ライナーの災害対策等に関する 東京都交通局への要望について	28
(5) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について	33
(6) 有楽町線（地下鉄8号線）の整備促進に向けた取組み状況について	38
(7) メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について	40

(都市建設部)

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

件名	花畑周辺地域におけるバスの試験運行について																																				
所管部課名	都市建設部交通対策課																																				
内容	<p>令和3年10月1日より運行を開始した、花畑桑袋団地と六町駅とを結ぶ社会実験バスの利用状況について報告する。併せて、花畑周辺地域公共交通検討会（以下「検討会」という。）を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 利用状況</p> <p>(1) 利用者推移（単位：人） ※4月1日～10日は一部運休（9便減）</p> <table border="1" data-bbox="435 857 1406 1361"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1期平均 (R3.10～R4.3)</th> <th>4月</th> <th>5月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり平均利用者数</td> <td>217</td> <td>244</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>内数：運賃払い</td> <td>109</td> <td>122</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>内数：シルバーパス</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>内数：回数券</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1便あたり平均利用者数</td> <td>4.3</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>内数：運賃払い</td> <td>2.2</td> <td>2.5</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>内数：シルバーパス</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>内数：回数券</td> <td>—</td> <td>0.1</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 1期の収支率（修正）</p> <p>1期分の運行等収入及び運行等経費を精査し、収支率を修正した（各金額は概数値）。</p> <p>ア 運行等収入 約4,400千円</p> <p>イ 運行等経費 約45,400千円</p> <p>ウ 収支率 約9.7%（目標収支率24%）</p> <p>2 第5回検討会の開催結果</p> <p>(1) 開催概要</p> <p>ア 日時 令和4年5月31日（火）午後7時～午後8時</p> <p>イ 場所 花畑公園・桜花亭2階会議室</p> <p>ウ 出席者（会員名簿は別紙1参照 P4～5） 33名</p>	区分	1期平均 (R3.10～R4.3)	4月	5月	1日あたり平均利用者数	217	244	252	内数：運賃払い	109	122	115	内数：シルバーパス	108	116	115	内数：回数券	—	6	22	1便あたり平均利用者数	4.3	5.0	5.0	内数：運賃払い	2.2	2.5	2.3	内数：シルバーパス	2.1	2.4	2.3	内数：回数券	—	0.1	0.4
区分	1期平均 (R3.10～R4.3)	4月	5月																																		
1日あたり平均利用者数	217	244	252																																		
内数：運賃払い	109	122	115																																		
内数：シルバーパス	108	116	115																																		
内数：回数券	—	6	22																																		
1便あたり平均利用者数	4.3	5.0	5.0																																		
内数：運賃払い	2.2	2.5	2.3																																		
内数：シルバーパス	2.1	2.4	2.3																																		
内数：回数券	—	0.1	0.4																																		

(2) 主な議題と報告事項

ア 1期の利用実績について（参考資料1参照 P7）

イ 回数券の販売実績について（参考資料2参照 P8）

ウ 収支率向上の方策について（参考資料3～4参照 P9～10）

(3) 主な意見

別紙2参照（P6）

(4) 今後の方針

第5回検討会における意見等を踏まえて、収支率を向上させ、路線を維持するために、令和4年10月より以下の方策を実施する。

- ・ 運行経費を削減するため、利用実態に合わせ土休日を中心とした減便の実施
- ・ 運賃収入を増加させるため、シルバーパス利用者から110円の徴収を開始

(5) 今後の予定

年 月	主 な 内 容
令和4年7月中旬	第6回検討会 ・ 収支率向上の方策の決定 ・ 詳細なダイヤ案
令和4年8月上旬	地域公共交通会議（書面開催） ・ 関係官庁、団体により運行ダイヤ及び運賃体系の改定について協議
令和4年8月下旬	バス事業者から国土交通省関東運輸局へ届出
令和4年10月1日	運行ダイヤ及び運賃体系の改定 （検証期間残り2期1年）

問 題 点
今後の方針

検討会での意見を踏まえながら、令和4年10月から収支率向上の方策が実行できるよう取り組んでいく。

花畑周辺地域公共交通検討会会員名簿

別紙 1

	団体名	会員区分
1	仲組三丁目町会	会 長
2	榎戸町会	副会長
3	東保木間町会	副会長
4	ベルドゥムール竹の塚自治会	要綱第3条 (1) 会員
5	保木間第五団地自治会	
6	外ヶ原町会	
7	堤根町会	
8	エステート花畑自治会	
9	前通り町会	
10	会組町会	
11	鷺宿町会	
12	花畑第五都住自治会	
13	保木間 11 自治会	
14	花畑四丁目都住自治会	
15	花畑団地自治会	
16	花畑七丁目団地自治会	
17	桑袋団地自治会	
18	保木間五丁目自治会	
19	南花畑自治会	
20	仲組四丁目町会	
21	花畑八丁目団地自治会	
22	花畑西町会	

	団体名	会員区分
23	南花畑下沼町会	要綱第3条 (1) 会員
24	花畑第三団地自治会	
25	花保親交町会	
26	水神町会	
27	原町会	
28	名地共和会	
29	名地町会	
30	在家町会	
31	前保木間親睦町会	
32	保木間四丁目自治会	
33	南保木間町会	
34	足立区医師会	要綱第3条 (2) 会員
35	鷺宿平成クラブ	
36	地域包括支援センターはなはた	
37	地域包括支援センター保木間	
38	地域包括支援センターーツ家	
39	花保商店会	
40	株式会社サンベルクスホールディングス	
41	花畑北中学校PTA	要綱第3条 (3) 会員
42	東武バスセントラル株式会社	
43	都市建設部長	要綱第3条 (4) 会員
44	花畑区民事務所長	
45	花畑区民事務所地域担当係長	
46	花畑区民事務所地域担当係長	

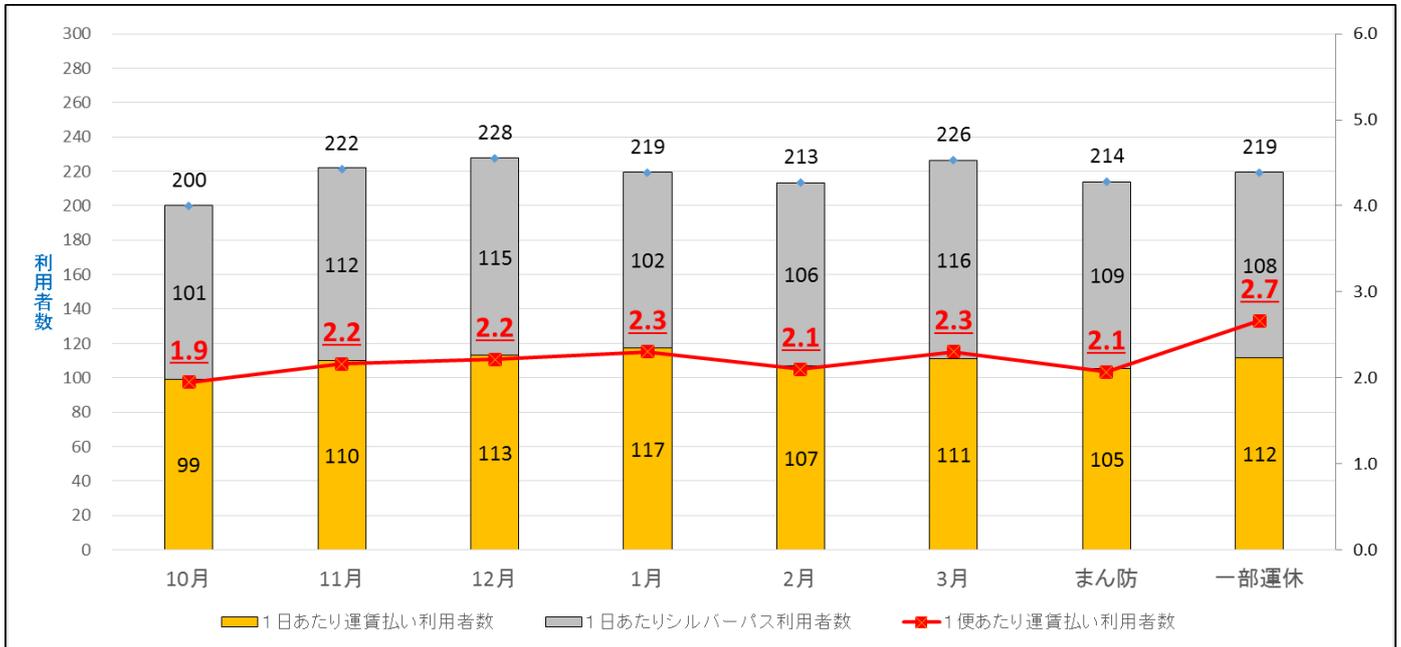
第 5 回検討会でいただいた主な意見

項目	発言者	意見
運行経費の削減について (方策①)	関係団体※	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス利用で買い物などはどのあたりに行くのか。 → 六町駅や六町駅経由で各地へ向かう方と、花畑桑袋団地やその他地域から花畑五丁目（ベルクスモール足立花畑等）へ向かう方に分かれている。 ・ 早朝から夜遅くまで運行されているが、時間帯によって利用に違いがあるか → 通勤・通学は朝と夕方に利用が多いが、買い物利用は 10 時・11 時台に多い印象がある（乗降調査でも同様の傾向）。 <p>⇒ 運行経費を削減するため、運行ダイヤを見直すにあたっては、多くの方のご利用に影響のないように検討を行う。</p>
運賃収入の増加について (方策②)	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初から無料乗車であったシルバーパス利用者が 220 円を支払うのは負担が大きい。小児運賃と同額の 110 円にしてほしい。 ・ 最初からシルバーパス利用を設定せず、220 円としていけば、様々な方策を検討できたのではないか。 ・ 収支率が当初目標を大きく下回っており、区の財政負担も大きい。このままでは、他の地域や区議会から「なぜ花畑の交通ばかりに税金が投入されるのか」という声も出るかもしれない。シルバーパス利用者が運賃を負担することについて理解してもらえよう、町会・自治会としても、町会員・自治会員に伝えていく必要があると思う。
その他	関係団体※	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバーパス利用者から運賃を徴収する前に、利用者を増やすという観点から、通勤利用の多い六町駅と通学利用の多いと思われる文教大学で、定期的に回数券の販売を実施してはどうか。
	町会・自治会 代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行ルートを見直す考えは無いのか。 ⇒ ルートの見直しに際し、諸手続き等に時間を要するため、2 年間の検証期間では実現が難しいこと、また、現行のルートは既存路線への影響を最も排したルートであることから、見直しは極めて困難である。

※ 関係団体…高齢者、医療機関、商業施設、学校等団体の構成員のこと

1期（令和3年10月～令和4年3月）の利用実績について

1 1日あたり利用者数 月単位推移



2 運賃種別毎利用者数

運賃払い	シルバーパス	合計
19,954 人	19,751 人	39,705 人

まん防
まん延防止等重点措置期間の利用者数
(令和4年1月21日～3月21日)
一部運休
一部運休期間の利用者数
(令和4年3月22日～4月10日)

3 曜日別利用者数

	平日	土休日
1日あたりの平均利用者数	233.9 人	185.4 人
内、運賃払い利用者数	119.1 人	89.9 人
内、シルバーパス利用者数	114.8 人	95.5 人

4 1期目の収支率

運行等収入	約 4,400,000 円
運行等経費	約 45,400,000 円
収支率	9.7%
目標収支率 (24%) との差	-14.3%

回数券の販売実績について

1 販売概要

- (1) 日程・場所
 4月22日(金) 15~20時 つくばエクスプレス六町駅出口A1
 4月23日(土) 10~15時 ベルクスモール足立花畑正面出入口付近
- (2) 回数券概要
 ア 料金設定 1,000円(7枚つづり、1,540円相当)
 イ 数量 500部限定
 ウ 有効期限 令和5年3月31日(社会実験バスでのみ利用可)

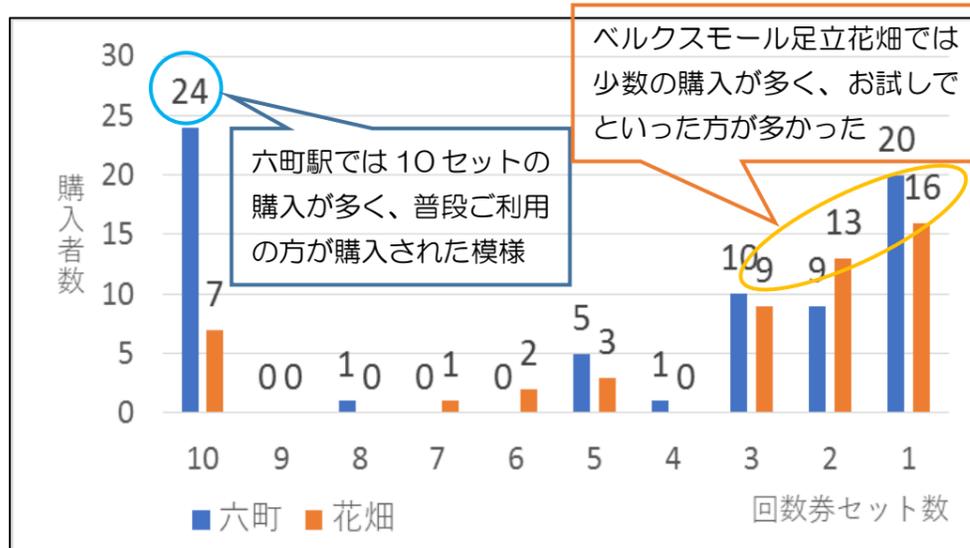
2 販売実績

実施日(場所)	販売セット数(売上金額)
4月22日(六町)	345セット(345,000円)
4月23日(花畑)	173セット(173,000円)
両日合計	518セット(518,000円)

※ 好評であったため、予備分も販売することとなった。

3 購入者概要

- (1) 購入者年代
 ・ 六町駅は30~50代と見られる年代が多かった。
 ・ ベルクスモール足立花畑では高齢者の方が比較的多かった。
- (2) 購入セット数

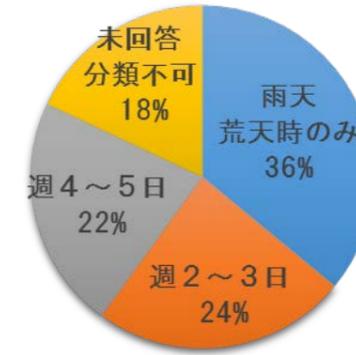


4 アンケート実施結果 回数券購入者・通行人対象

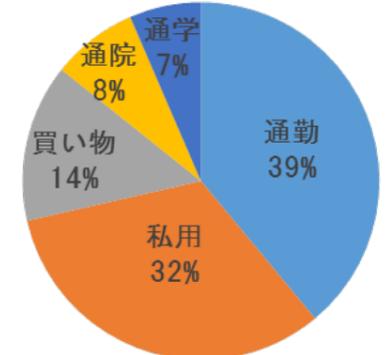
実施日(場所)	有効回答数
4月22日(六町)	34件
4月23日(花畑)	30件
両日合計	64件

雨天や荒天時のみと回答された方が多く、普段は自転車や徒歩など、別の移動手段を利用している方が多いことがうかがえる。

バス利用の頻度

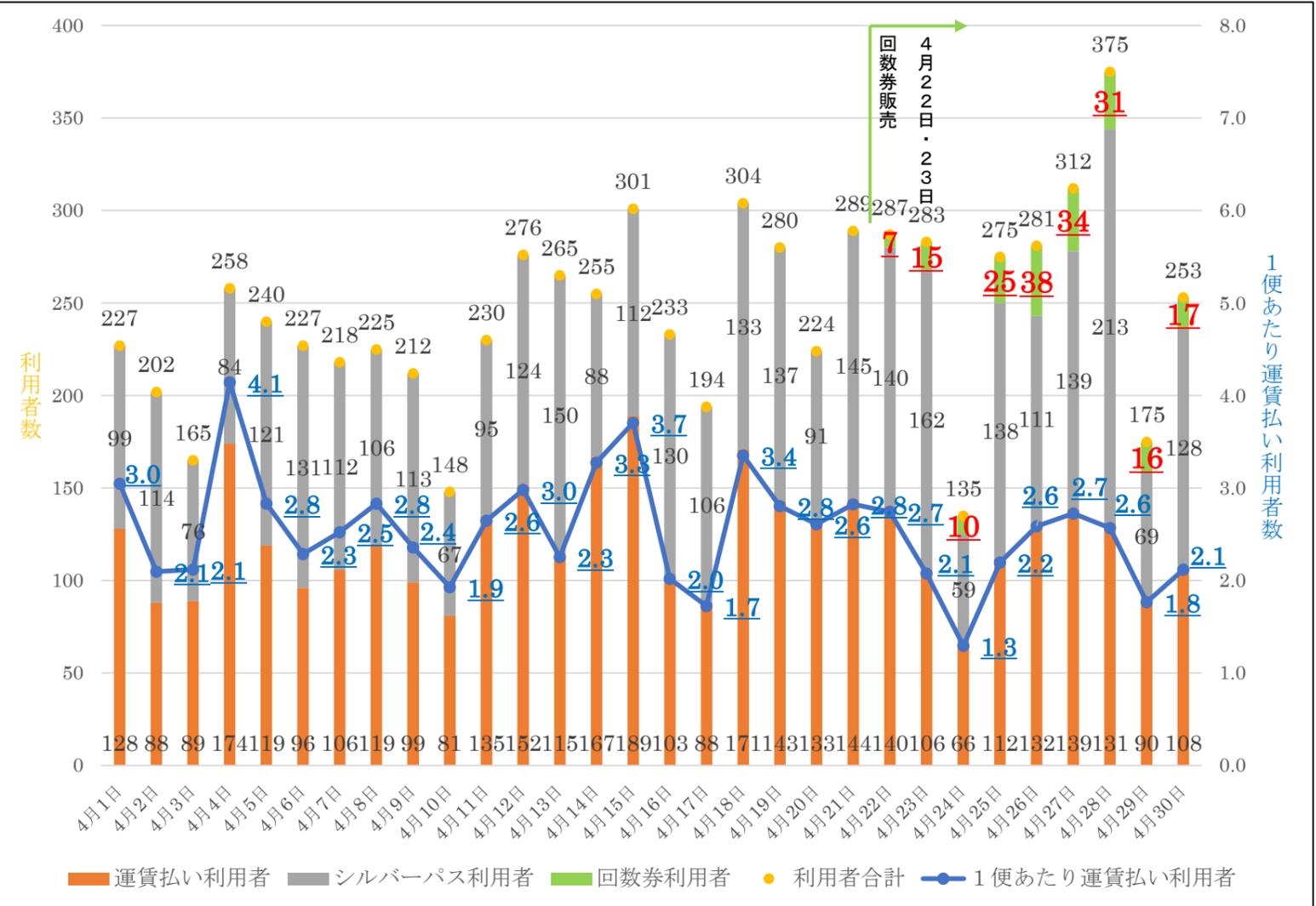


バス利用の目的



5 回数券使用状況(4月) 9日間で193枚使用

回数券販売開始日から順調に使用されており、4月末時点では運賃払い利用者の著しい減少も見られていない。



収支率向上の方策について<社会実験バスの継続に向けて>

1 現状と課題

参考資料3に記載のほか、区ホームページやSNS（Twitter、Facebook）等も活用し、周知及び利用促進活動に努めてきた。

また、収支率向上に向けた有料広告の募集も実施しており、5月1日より、有料広告1枠（4台）の掲載が開始となった（3か月間予定）。

- 運行開始前より、検討会の皆様のご協力もいただきながら、様々な活動を実施
- 雨天や積雪等の荒天時や大鷲神社の酉の市開催日には利用者が増加するなど、**社会実験バスの認知は十分**



- 認知されていても利用者が少ない（1期の収支率は9.7%）
- **3期目（令和4年10月～令和5年3月）の収支率が24%に到達しなければ2期連続の24%達成は不可となり、令和5年9月末で社会実験は終了**

⇒ **収支率向上のため、抜本的な方策を早期に実行することを検討**

2 方策① 運行経費の削減

(1) 利用実態

収支率を向上させるには、分母となる運行経費を削減しなければならない。

土休日は利用者が少ない傾向にある（資料1参照）。また、全便調査その他の結果から、利用者が極端に少ない時間帯があることが判明している。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月22日～4月10日の間、午後～夜間にかけて一部の便を運休したが、利用者数は減っておらず、便数が減ったことにより1便あたりの運賃払い利用者数が増加する結果となった（資料1グラフ参照）。

⇒ **土休日の減便**や、**平日も効率的なダイヤで運行**することが、経費減に最適

(2) 収支率試算

◆ 運行ダイヤ案（資料3-2参照）を実行した場合（半年の金額）

	運行経費の削減	削減後の収支率
平日 4 便減 + 夜間文教大学折返し 土休日 15 便減	-6,869,641 円※	11.4%

※ 運転手数が減る（平日5→4名、土休日5→3名）ことに伴い、理論上削減できる額であるが、昨今の燃料費高騰等の影響により、同額程度削減できるかは未定。

3 方策② 運賃収入の増加

(1) 実情

収支率を向上させるには、分子となる運行（運賃）収入を増加させなければならない。

本路線では、シルバーパス利用者が全体の利用者数の半数を占めている（資料1参照）。

また、本路線はシルバーパスの適用路線ではない（東京バス協会からの運賃補償がない）ため、足立区がシルバーパス利用者分の運賃収入を全額補填しており、その分収支率が低くなる。

⇒ **シルバーパス利用者から運賃を徴収**することが、収入増に大きく寄与

(2) 収支率試算

ア シルバーパス利用者から**大人運賃 220 円**を徴収した場合（1期：半年分の数値を適用）

	運賃収入の増加	増加後の収支率
4 人に 1 人が利用	+1,086,305 円	12.1%
半数が利用	+2,172,610 円	14.5%
全員が利用	+4,345,220 円	19.2%

イ シルバーパス利用者から**半額の 110 円**を徴収した場合（1期：半年分の数値を適用）

	運賃収入の増加	増加後の収支率
4 人に 1 人が利用	+543,152 円	10.9%
半数が利用	+1,086,305 円	12.1%
全員が利用	+2,172,610 円	14.5%

4 方策①と方策②を同時に実行した場合

方策①と方策②を同時に実行すると、理論上は下記のとおり収支率が上昇する。

◆ 方策実施前（1期の収支率） **9.7%**（目標値 **24%**）

回数券の販売等、負担軽減策も検討



シルバーパス利用者	A案 220円を徴収	B案 110円を徴収	C案 方策①のみ
4 人に 1 人が利用	14.3%	12.8%	11.4%
半数が利用	17.1%	14.3%	
全員が利用	22.7%	17.1%	

社会実験バス「ブンブン」号 運行ダイヤ案

参考資料 4

現			新				
平日・土休日共通(運転手5人)			平日(運転手4人)			土休日(運転手3人)	
六町駅 発	花畑桑袋団地 発	時	六町駅 発	花畑桑袋団地 発	時	六町駅 発	花畑桑袋団地 発
		5			5		
47	07 37	6		★ ★	6		★
17 47	02 27 57	7	★ ★	★ ★	7	★	★
07 37	27	8	★ ★ ★	★ ★	8	★ ★	★ ★
07	32	9	★	★	9	★	★
17 47	07 57	10	★	★ ★	10	★ ★	★ ★
37	27 47	11	★ ★	★	11	★	★
07 37	17 47	12	★	★	12	★ ★	★
57	17	13	★	★ ★	13	★	★ ★
47	07 47	14	★	★	14	★	★
27	27	15	★ ★	★ ★	15	★ ★	★ ★
07	27 57	16	★	★	16	★	★
07 42	27 52	17	★ ★	★ ★	17	★ ★	★ ★
07 32	22 57	18	★ ★	★ ★	18	★	
02 37	52	19	◎	★	19	★	★
32	27	20	◎	◇ ◇	20		
07 52	12 47	21	◎	◇	21		
		22			22		
24	27	計	22	25	計	18	18

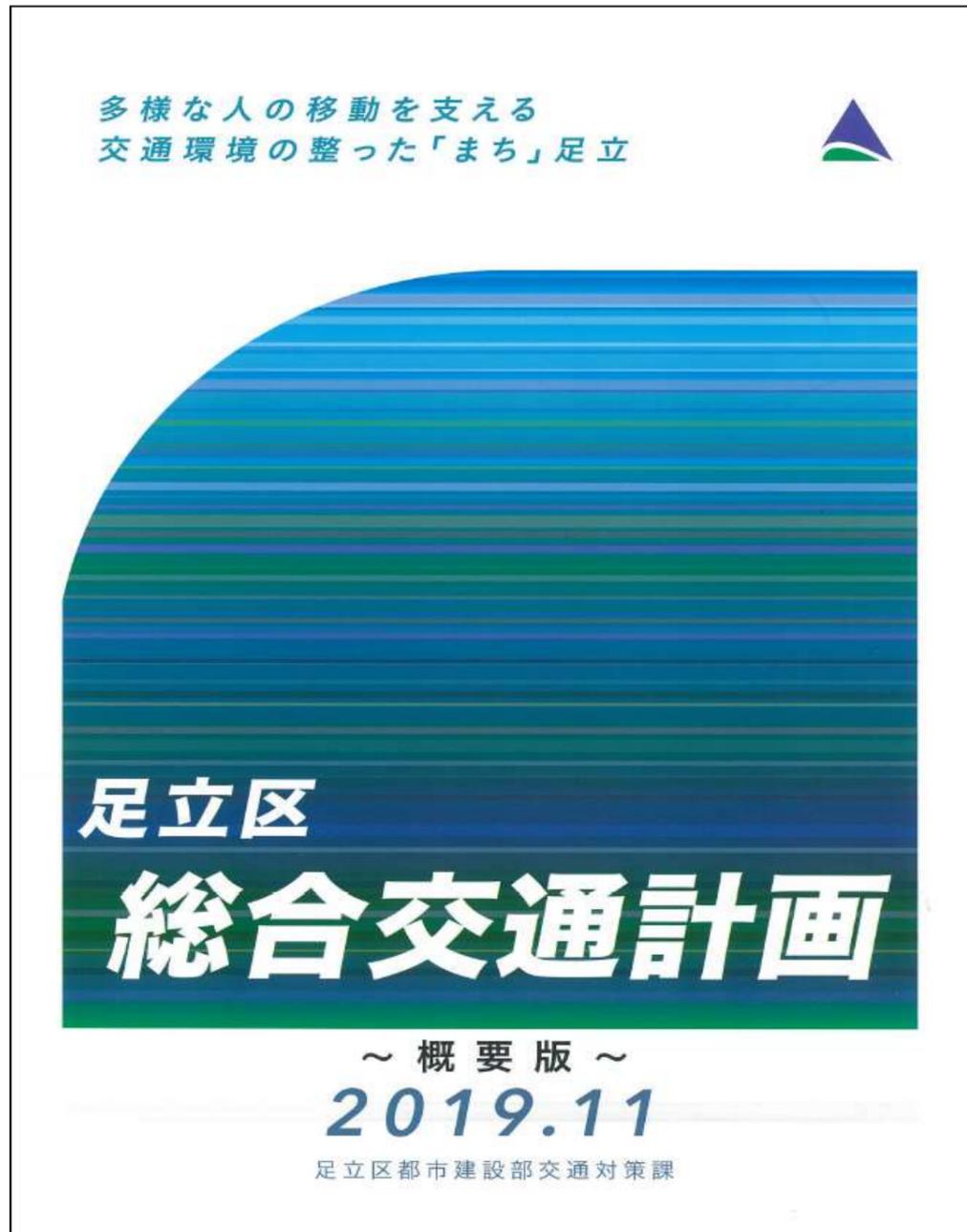
◎ は文教大学止まり ◇ は文教大学始発

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

件名	多様な交通手段の導入に向けた取組状況について
所管部課名	都市建設部交通対策課
内容	<p>バス以外の多様な交通手段の導入に向けたこれまでの取組状況を、以下のとおり報告する。</p> <p>1 足立区総合交通計画での位置づけ</p> <p>平成30年2月に実施した意向調査をもとに令和元年11月に改定した足立区総合交通計画において、バス以外の多様な交通手段の検討対象として、7地域を位置づけている。</p> <p>その中で交通不便度の高い入谷地区・鹿浜地区において、交通に関する地域の課題や需要を把握するため、令和3年度から町会・自治会へのヒアリングを進めてきている。</p> <p>2 町会・自治会連絡協議会でのヒアリング</p> <p>町会・自治会連絡協議会の会長会議の場で、事業の概要説明（別紙1～4参照 P13～16）を行い、「日常的な移動に関して不便を感じるか」について、下記日程で各町会・自治会へのヒアリング等を行った。</p> <p>(1) 舎人地区町会・自治会連絡協議会（5町会） 令和4年2月24日、3月24日、4月28日</p> <p>(2) 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会（18町会） 令和4年3月2日</p> <p>※ 5月11日に予定されていた会長会議が中止となったため、電話等で町会長へのヒアリングを実施</p> <p>3 入谷地区での取組状況について</p> <p>町会・自治会連絡協議会において、「舎人町会・古千谷本町町会の役員で話をしたが、特に交通に対する要望はなく、入谷町会を中心に検討してもらって構わない」との意見を受け、改めて入谷町会の役員会にて利用頻度の高い施設や交通手段等の意見集約を依頼した。</p> <p>(1) 入谷町会ヒアリング実施日 令和4年6月7日（火）</p>

	<p>(2) 参加者 入谷町会の役員 (出席者24名、欠席者3名)</p> <p>(3) その場で挙げられた意見 ア 高齢になり免許返納したので、区役所などに行くのに困っている。 イ はるかぜ3号(西新井・舎人線)の便数が少なく困っている。 ウ 東京女子医科大学附属足立医療センターが開院したが、入谷地域から直接行けるバスがない。</p> <p>(4) 今後の進め方について 次回の役員会(7月7日(木))に再度伺い、そこで各役員から挙げられた意見をもとに、地域の需要等の調査を進めていく。</p> <p>4 鹿浜地区での取組状況について</p> <p>令和4年3月2日に開催された鹿浜地区町会・自治会連絡協議会の会長会議にて、各町会・自治会の意見集約を依頼、6月6日に開催された総会の場でその結果の説明を行った。</p> <p>(1) ヒアリング結果 別紙5のとおり(P17参照)</p> <p>(2) 参加者 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会管内の18町会の会長 (出席者18名)</p> <p>(3) その場で挙げられた意見 ア 交通手段導入までのスケジュールを教えて欲しい。 イ 花畑地域の社会実験バスの状況を教えて欲しい。</p> <p>(4) 今後の進め方について 入谷地区に比べ、赤羽や王子方面など区外に外出するという回答も多く、近隣のスーパーや公共施設も含めると目的地が広域に渡り点在している。 日暮里・舎人ライナーやバス路線といった主要な交通網は、ある程度充足している地域であり、それを補完するような交通手段の導入を検討していく。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>今後も、地元の方々へのヒアリング等を丁寧に進め、地域の課題や需要に合った交通手段を検討していく。</p>

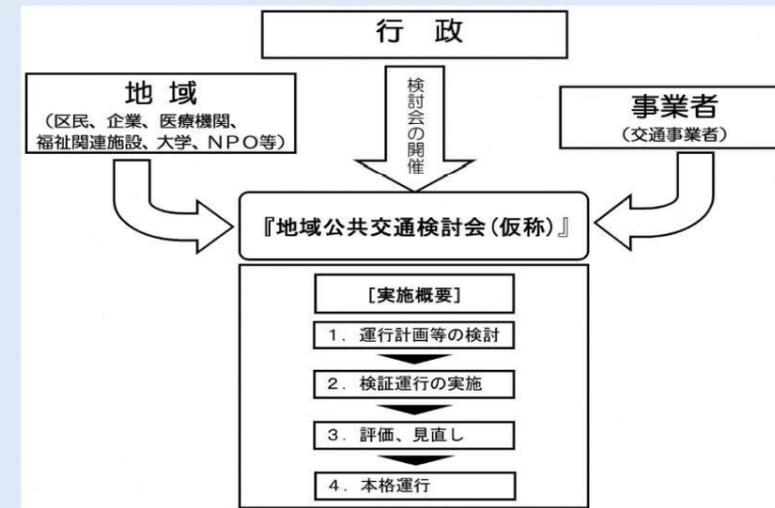


① 多様な交通手段の導入（10ページ参照）

交通不便度が高くバスに対する需要が少ない地域において、行政、交通事業者、地域が連携し「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、運行計画の検討や検証運行を実施しながら、不便度解消に資する交通手段の導入を目指します。

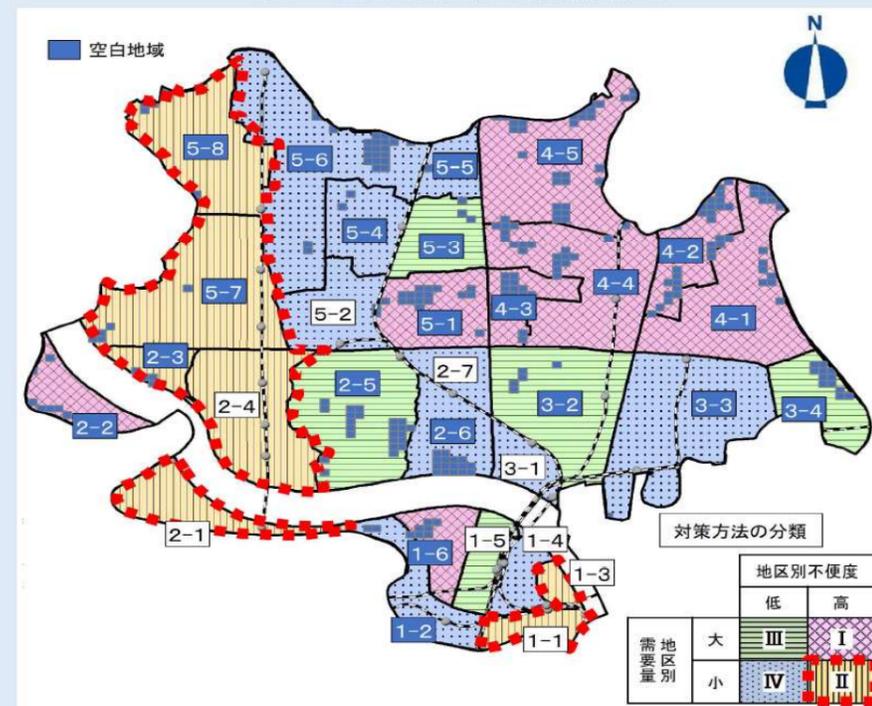
運行計画の検討や検証運行に必要な財政支援については、交通事業者等と協議の上実施します。検証運行の実績等を元に、本格運行の実施の有無や財政支援について判断していきます。

【図 事業イメージ】



なお、不便度が高いものの、その解消手段としてバス交通のニーズが低い地区については、区民意識調査を基に抽出し、これらの地区を「バス以外の多様な交通手段を検討する地区（対策方法分類Ⅱ地区）」と位置づけました。この分類Ⅱ地区には、破線で囲んだ区の西側などの地区が該当します（下図）。

【図 多様な交通手段検討地区】



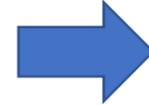
【地区別不便度】

移動における区民の不便感と目的施設までの距離の大小により算出した不便度

【地区別需要量】

区民意識調査より算出した地区別のバスを求める需要量

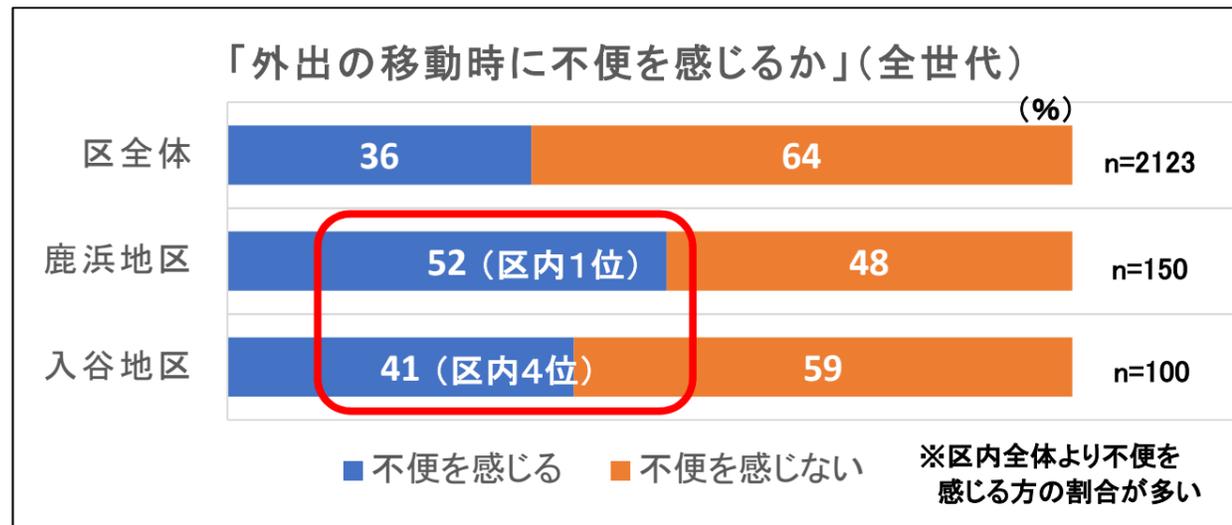
平成30年2月に実施した意識調査をもとに令和元年11月に改定した足立区総合交通計画では、入谷地区・鹿浜地区は交通不便度が高いものの、その解消手段としてバス交通のニーズが低いため、**バス以外の多様な交通手段を検討していく地区に位置付け**ています。



今後、地域の実態にあった交通手段を検討していくため、入谷地区及び鹿浜地区にお住いの皆様に、**交通に関する地域の課題や需要**をヒアリングさせていただきたいと考えております。

1. 「足立区の交通に関する意識調査」における地域の傾向

「足立区の交通に関する意識調査」では、「**不便を感じる**」と回答した方の**比率が、区内16地区中、鹿浜地区が1位、入谷地区が4位**と他地区よりも**高い**結果となっています。



○目的別の不便感の分類

(1) 買い物目的

鹿浜地区・入谷地区ともに「**目的地までの距離が遠く、不便感が高い**」という意見が多い。

(2) 通院目的

入谷地区は「**目的地までの距離が遠く、不便感が高い**」という意見が多いが、鹿浜地区は不便感が低い。

(3) 通勤・通学目的

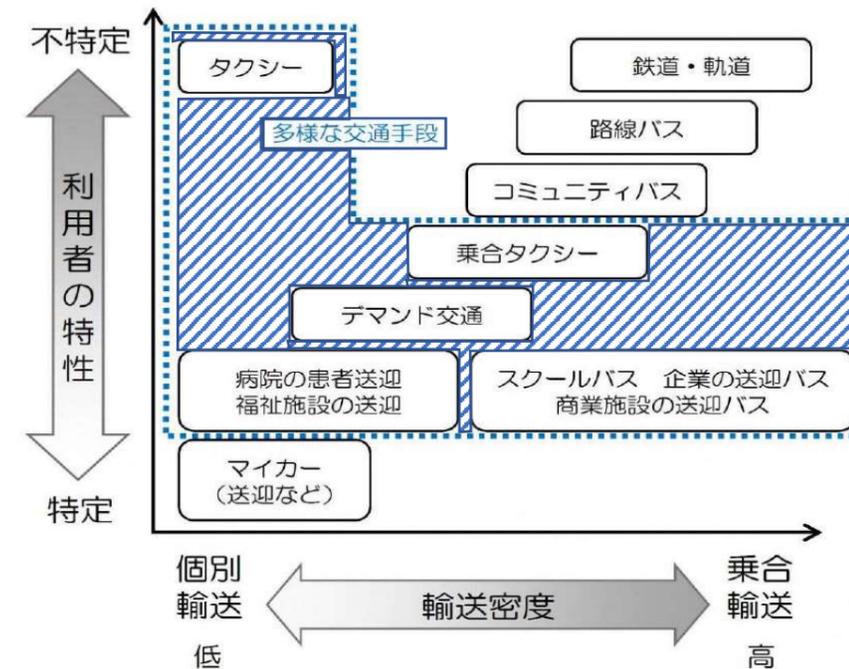
鹿浜地区・入谷地区ともに「**目的地までの距離は遠くないが、不便感が高い**」という意見が多い。

⇒入谷地区は特に「買い物」「通院」を目的とし、公共交通で移動する際に不便を感じるという方が多い(区内1位(買い物)、区内2位(通院))

2. バス以外の多様な交通手段について

下図から分かるように、鉄道やバス以外に、利用者の特性に応じた移動サービスが存在し、すでに運用している自治体も多くあります。

移動目的や年齢層により移動手段が多様化しているため、**移動実態や不便状況に応じた交通手段の検討が必要**です。



3. 町会・自治会の皆様へ伺いたいこと

- ・日常的な外出に関して、不便だという声をよく聞きますか？
(買い物、通院、通勤・通学などの外出時)
- ・地域の方が行く頻度が多い目的地はどこですか？
(〇〇駅、〇〇スーパー、〇〇病院、〇〇学校など)
- ・目的地までどのような移動手段を使用している方が多いですか？
(鉄道、路線バス、はるかぜ、自動車、自転車、タクシー、徒歩など)

	①タクシー型	②ワゴン車型	③電動カート型
車両タイプ	 <p>※柏市HPより画像を引用</p>	 <p>※日立自動車交通（株）HPより画像を引用</p>	 <p>※横浜市HPより画像を引用</p>
定員	2名～4名	7名～13名 (車両サイズによる)	3名～7名 (車両サイズによる)
主な運行形態 (実験含む)	オンデマンド型 (電話、Webによる事前予約)	路線定期運行(基本はフリー降車)	オンデマンド型 (電話、アプリによる事前予約)
事前登録の有無 (利用者情報)	有 (利用が特定の地域住民限定の自治体もあり)	無	有
主な支払方法	現金	現金 (キャッシュレス決済導入自治体もあり)	現金
導入自治体 (実証実験中含む)	柏市、越谷市、東松山市 など	葛飾区、さいたま市、横浜市 など	港区、横浜市 など
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 導入自治体が多い(ただし、都内に事例はない)。 通常のタクシーに近い運行スタイルのため、利用しやすい。 AIデマンド運行などの実証実験も増えてきており、将来的に有効な仕組みになる可能性がある。 タクシー事業者の所有している既存の車両を使用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド型も含め、導入自治体が多い。 他案より定員が多い。 オンデマンド型より運賃が安い。 路線定期運行の場合、予約システム開発などが不要。 降車位置がフリーのケースが多く、利用しやすい。 車両のラッピングが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンスローモビリティとして活用検討に向けた実証実験が進んでいる。 電動式のため、静音であり環境にやさしい。 他案よりコンパクトのため、狭隘道路も走行可能。 中心市街地や観光地での回遊、郊外部住宅団地と路線バス停留所との連絡等、「ラストワンマイル」の利活用に適している。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 予約システムや電話予約のオペレーターなどのコストがかかる。 平日限定、居住者限定、乗降場所限定など利用できる人が限られるケースがある。 他案より閉鎖的な空間で、他人と乗合することに抵抗を感じる人がいる。 相乗りの場合、最短で到達できないことがある。 Web予約のみだと、高齢者へのフォローアップが必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運行開始には新規の車両購入が必要。 キャッシュレス決済を導入する場合、手数料などのコストがかかる。 満員の場合、乗車できないケースが生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時速20km未満の走行となるため、幹線道路は走行できない。また、坂道に弱い。 フル充電であっても1日の運行全てを担うことができなく、バッテリー交換もできないため、車両の交換が必要となる。 車両側面がフリーもしくは、ビニールシートなどの簡易装備のため、空調がきかない。

鹿浜地区における地元ヒアリング結果

別紙5

 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会 範囲

 日常的な外出に関して、不便だという声をよく聞くエリア

 スーパー（食料品）

 救急病院

【環七・環七北通り沿いのエリア】

環七や環七北通りを運行するバス本数が多く、不便という声はあまり聞かない。

【北部エリア】

区役所や竹の塚方面に行くのに不便という声を良く聞く。

【尾久橋通り沿いのエリア】

バスや自転車利用者も多いが、日暮里・舎人ライナーの駅が近く、不便という声はあまり聞かない。

【中部エリア】

血沼循環の逆（右）回りなど、五色桜通りにバスを通して欲しい。

町会・自治会から挙げられた意見の傾向

- 環七や尾久橋通り沿いの地域は、不便を感じないという意見が多い。
- 高齢者の多い都営住宅の自治会を中心に、外出目的が「買い物」の際に不便を感じる方が多く、「通院」に対して不便という意見は少なかった（過去に実施したアンケート結果と同様）。
- よく行く目的地は、「西新井方面」という意見が最も多いが、ライナーや路線バスを利用し、赤羽・王子・川口・日暮里などに行く方も多い。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

件名	令和4年度足立区総合交通計画推進会議の開催について
所管部課名	都市建設部交通対策課
内容	<p>足立区総合交通計画の進行管理を行う、令和4年度足立区総合交通計画推進会議を開催するため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 開催概要</p> <p>(1) 日時 令和4年7月26日(火) 10時から</p> <p>(2) 開催方法 対面会議(令和2年度、令和3年度は書面開催)</p> <p>(3) 開催場所 足立区役所中央館8階特別会議室</p> <p>(4) 足立区総合交通計画推進会議の概要及び会員名簿 (別紙1参照 P19)</p> <p>2 主な議事</p> <p>(1) 令和3年度事業指標の実施状況に関する総括表 (別紙2参照 P20)</p> <p>(2) 各事業の実施状況一例(別紙3参照 P21~P23)</p> <p>(3) 令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧 (別紙4参照 P24~P27)</p> <p>(4) 各事業の進捗について意見交換等</p>
問題点 今後の方針	各委員から頂いた意見・要望等を各事業に反映し、着実に計画を進めていく。

足立区総合交通計画推進会議の概要

(足立区総合交通計画抜粋)

計画の位置づけ・計画期間・進行管理

●位置づけ

「足立区基本計画」を補完する交通施策に係る分野別計画
すべての移動手段を対象とした総合的な交通計画

●計画期間

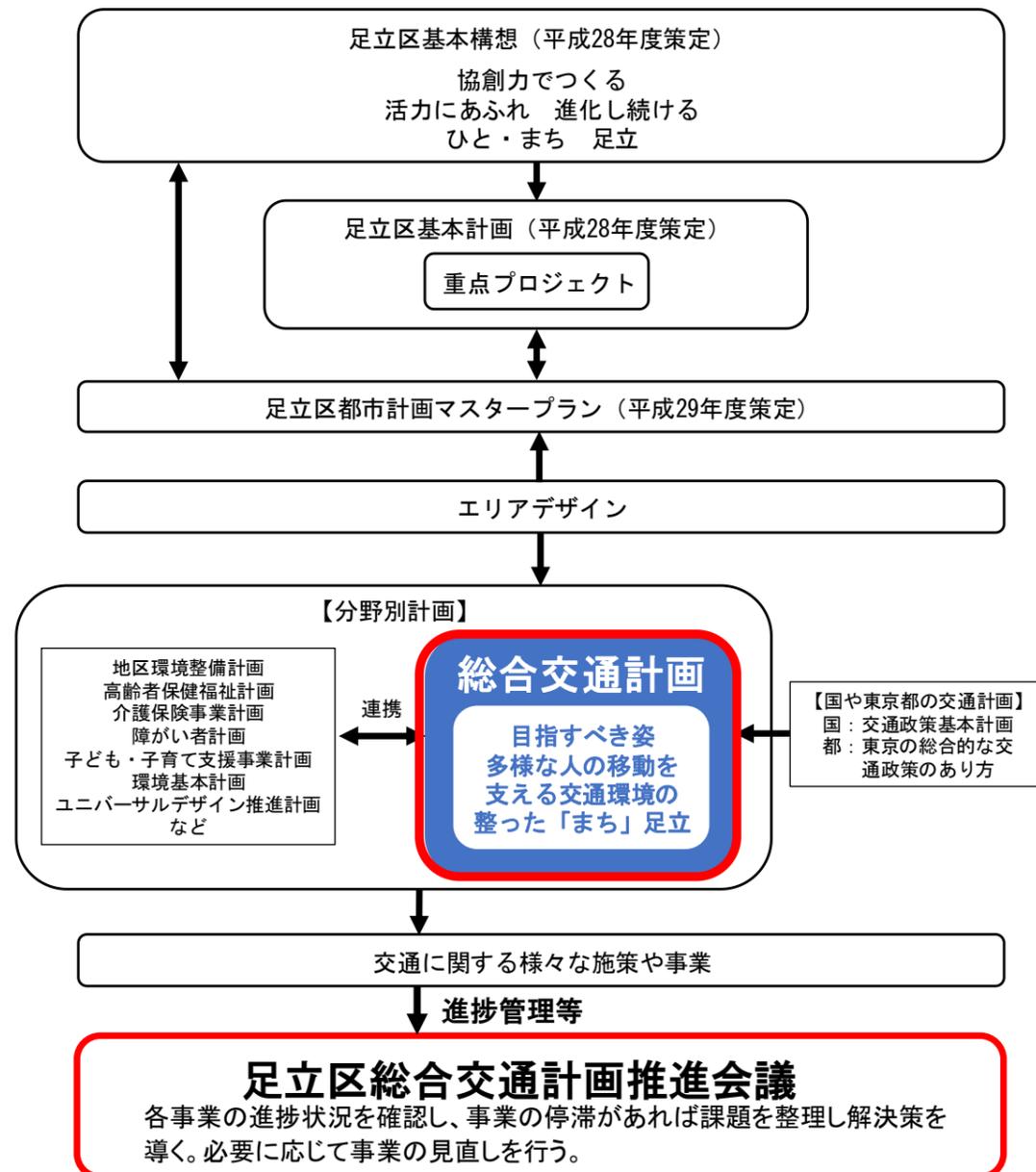
令和元年度から概ね10年間（令和6年度に中間検証を実施）

●進行管理

事業ごとに定めた目標時期（概ね5年、10年）に向け、進捗状況を毎年
評価し、評価結果を基に事業を見直しなが、本計画を効果的・効率的に
推進していきます。



【総合交通計画の位置づけ】



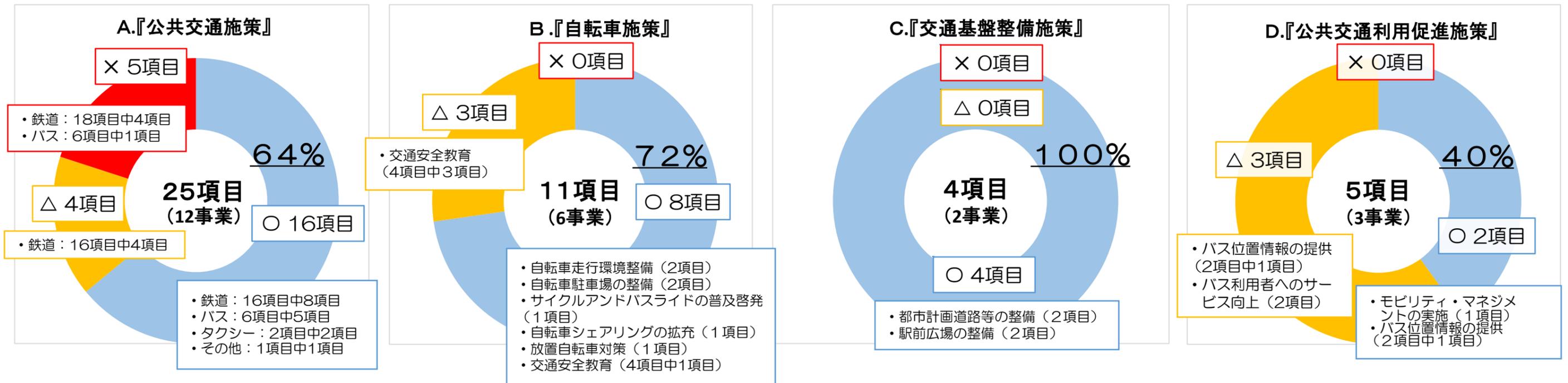
足立区総合交通計画推進会議名簿

	区分	団体名
1	学識経験者(会長)	東京理科大学
2	行政機関	国土交通省関東運輸局東京運輸支局
3		東京都都市整備局都市基盤部
4	鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社
5		首都圏新都市鉄道株式会社
6		東京地下鉄株式会社
7		東武鉄道株式会社
8		京成電鉄株式会社
9		東京都交通局電車部
10	バス事業者	東京都交通局自動車部
11		国際興業株式会社
12		東武バスセントラル株式会社
13		京成バス株式会社
14		日立自動車交通株式会社
15		朝日自動車株式会社
16	株式会社新日本観光自動車	
17	タクシー事業者	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
18	警察等交通管理者	警視庁 交通部
19		警視庁千住警察署
20		警視庁西新井警察署
21		警視庁竹の塚警察署
22		警視庁綾瀬警察署
23	道路管理者	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
24		東京都建設局第六建設事務所
25	区議会議員	足立区議会議員（6月頃選出）
26		足立区議会議員（6月頃選出）
27		足立区議会議員（6月頃選出）
28		足立区議会議員（6月頃選出）
29		足立区議会議員（6月頃選出）
30	住民又は利用者	足立区障害者団体連合会
31		足立区友愛クラブ連合会
32		足立区地域保健福祉推進協議会子ども支援専門部会
33		足立区まちづくり推進委員会
34	区職員	政策経営部長
35		福祉部長
36		環境部長
37		都市建設部長
38		道路公園整備室長

1 事業全体の実施状況（過年度比較）

	事業指標が位置づけられている取り組み項目の数	【○：達成】（○の割合）	【△：一部達成】（△の割合）	【×：未達成】（×の割合）
令和元年度実績	50項目（全22事業）	42項目（84%）	6項目（12%）	2項目（4%）
令和2年度実績	49項目（全23事業）	31項目（63%）	11項目（23%）	7項目（14%）
令和3年度実績	45項目（全23事業）	30項目（67%）	10項目（22%）	5項目（11%）

2 施策別の実施状況（令和3年度）



【実施結果】
 ・鉄道に関する項目については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会議やイベントが開催できず、複数の項目で達成とはならなかったが、公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を行うなど、新たな方法での地下鉄8号線などのPR活動を行った。

【実施結果】
 ・交通安全教育は、リモート講義や動画視聴も活用し1項目達成となった。例年、住区センター(子育てサロン含む)で開催される催しに合わせて、啓発活動を行っている事業については、催しがまん延防止重点措置期間により中止となり、啓発活動が困難となったため数値目標には届かなかった。

【実施結果】
 ・令和2年度では「自転車専用通行帯、ナビライン、ナビマーク等の整備」と「足立区民営自転車等駐車場設置補助金制度を活用した民営自転車駐車場の新設」の2つの項目が達成とはならなかったが、令和3年度は達成することができた。

【実施結果】
 ・「△（一部達成）」であった、バス利用者へのサービス向上の2項目（ICカード定期券の導入、乗継割引の導入）については、各事業者検討は行っているが、費用対効果の面から、導入が難しいという現状がある。

事例
①

事業名：【A-1-④】踏切解消（竹ノ塚駅）

鉄道事業者と連携し、連続立体交差事業を実施

令和4年3月20日に、上下緩行線（普通列車）が高架化。これにより、竹ノ塚駅付近にある2箇所の踏切が解消した。
令和4年6月12日に、区立第十四中学校で「高架化記念式典」を開催。

現在の状況



ADACHI CITY **あだちから**
Go For 90th+100th

2022年(令和4年)
4月25日 第1878号

足立区
報道広報課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
☎3880-5111(代表)
☎3880-5678
✉voice@city.adachi.tokyo.jp

お問い合わせコールあだち ~気軽に聞けます! 区の情報~
(毎日、午前8時~午後8時) ☎3880-0039 FAX3880-0041

あだち 広報

工事着手から約10年 踏切のない竹の塚 ついに実現

令和4年3月19日から翌朝にかけて竹ノ塚駅*を通る上下緩行線**の工事が行われ、4線すべての高架化が完了。平成24年から約10年の歳月を経て、2つの踏切がなくなりまし。区民の皆様からいただいた意見が様々な点で反映された新駅舎も20日にオープンし、竹ノ塚駅と周辺地区の新たな時代が幕を開けました。

★1-町名は「竹の塚」、駅名は「竹ノ塚駅」と表記 ★2-各駅停車のこと
■視先= 区 鉄道関連事業課 立体化担当 ☎3880-5484 くわしくは12面へ

新駅舎外観 シンプルで開放的なデザイン
明るい構内 壁や屋根に光を透過する素材を採用
こどもトイレ 電車がモチーフ おむつかさコーナを単独設置
エレベーター 20人乗りの大型 ストレッチャーにも対応
自然的な雰囲気 ホーム天井の一部に木材を使用

Before 平成23年撮影

中止 第44回 足立の花火 7月23日に開催を予定していた「第44回 足立の花火」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。楽しみにしていた方には誠に申し訳ございません。

12 あだち広報 2022年(令和4年)4月25日(第1878号)

ポスターで振り返る 高架化の10年

竹ノ塚駅付近の2つの「開かずの踏切」。平成17年に人身事故が発生し、お2人が犠牲となられました。二度と悲劇を起こすまいと区や地域、東武鉄道などの関係者が協力しながら努力を続け、ようやく高架化が実現。事業の進捗をお知らせしてきた7枚のポスターとともに、竹ノ塚駅付近の鉄道高架化事業を振り返ります。
■視先= 区 鉄道関連事業課 立体化担当 ☎3880-5484

<p>竹ノ塚駅がおかげさまで高架化されました。ここまで温かく見守っていただき、心から感謝申し上げます。令和5年度末まで一部の工事は続きますが、安全第一に進めてまいります。</p> <p>東武鉄道 竹ノ塚駅長 飯塚 英樹さん</p> <p>踏切事故発生から約7年。23区で初めて足立区が高架化の事業主体に。</p> <p>平成24(2012)年 作成 2013.5.15 高架化前の踏切</p>	<p>あがる はじまる 竹の塚</p> <p>平成24年、最初に下り急行線の高架化に着手。工事が本格的にスタートした。</p> <p>平成24(2012)年 作成 2015.7.24 下り急行線高架化</p>	<p>ただ今 地下通路 掘っています。</p> <p>平成28年、仮設地下自由通路が開通。踏切を通らずに東西の行き来が可能になった。</p> <p>平成28(2016)年 作成 2016.11.16 開通前の地下通路</p>
<p>地下改札 工事中。</p> <p>高架化のために橋上の駅舎を取り壊し、地下の改札から地上の仮設ホームへ向かう経路に。</p> <p>平成28(2016)年 作成 2017.10.4 地下改札設置後</p>	<p>次は 上りの急行線</p> <p>平成29年、上り急行線の高架化がスタート。営業線の全線高架化へ工事がさらに加速。</p> <p>平成29(2017)年 作成 2019.4.8 建設中の橋桁</p>	<p>全部 あがるぞ! 竹の塚!</p> <p>新駅舎建設とともに、残りの上下緩行線*の高架化に着手。工事もいよいよ終盤に。★各駅停車のこと</p> <p>令和2(2020)年 作成 2021.4.22 建設中の新駅舎</p>
<p>「開かずの踏切」が無くなった夜</p> <p>令和4年3月19日、午後10時ごろから翌朝にかけて上下緩行線の切り替え工事が行われました。</p> <p>午前0時20分 地下改札から運ばれてきた改札機を新駅舎に設置</p> <p>午前0時40分 線路切り替えのため、約10人で力を合わせレールを移動</p> <p>午前2時50分 遮断機や警報機を取り除き、踏切を完全に撤去</p> <p>午前4時50分 始発列車に先立ち、最終確認のため試運転を実施</p> <p>竹ノ塚駅周辺地区 まちづくり連絡会 会長 澤田 榮介さん</p> <p>ようやく高架化が実現して、これほどうれしいことはないですね。これまで関わってきた全員が一生涯に頑張ってきたからこそだと思います。今後は、踏切による分断が解消された竹の塚地域を一体となって盛り上げていきたいです。</p> <p>この下は広告スペースです。内容については、各広告主にお問い合わせください。広告掲載のお問い合わせは広報係へ ☎3880-5815</p>		

事例②

事業名：【A-2-①】拠点間バス路線等の維持・強化
 新たなバス需要が見込まれる東京女子医大開設に合わせてバス路線の新設や再編を実施
 東京女子医科大学附属足立医療センター開院に向け、4事業者8路線のバス路線新設・再編等を行い、令和4年1月4日に乗り入れを開始した。

事例③

事業名：【A-2-②】交通不便地域のバス路線導入
 検証運行実績等を基に、本格運行を実施
 令和3年10月1日より六町駅～花畑桑袋団地間で検証運行（最大2年間、2期連続で収支率24%をクリアすると本格運行へ移行）を開始した。

12 あだち広報 2021年(令和3年)12月25日(第1870号)

4年1月4日 運行開始 **東京女子医科大学附属足立医療センター (江北4-33) 付近に停まるバスを紹介!**

区内初の大学病院が、間もなく開院! 今号では、病院へのアクセスに便利な停留所「東京女子医大足立医療センター」「東京女子医大足立医療センター前」に停まるバスを紹介します。くわしくは区のホームページをご覧ください。

■問先=バス…(区)交通対策課 交通計画係 ☎3880-5718
 ▷大学病院…(区)衛生管理課 大学病院整備担当 ☎3880-5891

東京女子医科大学附属足立医療センター
 日暮里・舎人ライナー
 「江北駅」から徒歩約4分
 バス停留所
 「東京女子医大足立医療センター」
 「東京女子医大足立医療センター前」
 下車すぐ(全8路線)

4年1月5日 外来診療開始
 受診には紹介状が必要です。事前にかかりつけ医にご相談ください。

バス転回場 (東京女子医大足立医療センター/全5路線)
 東京女子医科大学附属足立医療センター

バス停留所 (東京女子医大足立医療センター前/全3路線)

北千住駅から乗れるバス
 東武バス北05
 北千住駅
 千住桜木
 扇大橋駅前
 扇三丁目
 江北陸橋下
 医療センター
 新日本観光自動車はるかぜ6号
 北千住駅西口
 桜木町
 センター前
 鹿浜の花中学校
 鹿浜五丁目団地

西新井駅から乗れるバス
 東武バス西08
 西新井駅西口
 西新井大師前
 江北陸橋下
 江北小学校前
 医療センター
 国際興業バス赤27
 赤羽駅東口
 鹿浜橋
 医療センター
 西新井大師
 西新井駅

その他の駅から乗れるバス
 都営バス王49
 王子駅前
 鹿浜橋
 医療センター
 西新井大師前
 足立区役所
 都営バス里48-2
 日暮里駅前
 足立小台駅前
 センター前
 鹿浜の花中学校
 加賀団地
 都営バス里48-3
 江北駅前
 江北小学校前
 センター前
 江花一丁目ハートランド
 扇三丁目
 東武バス王30
 王子駅
 鹿浜橋
 医療センター
 加平橋
 亀有駅北口

※主な停留所のみ掲載。停留所名は「東京女子医大足立医療センター」を「医療センター」、「東京女子医大足立医療センター前」を「センター前」に省略

ADACHI CITY
 2021年(令和3年)12月10日 第1869号

あたち 広報

毎日、便利。そして、ときどき **バスさんぽ**

花畑桑袋団地～六町駅

社会実験バス運行中!
 花畑周辺地域の交通利便性向上のため、新しいバス路線で2年間(10月～5年9月)の社会実験★を実施中です。毎日の通勤・通学やお買い物に便利になるのはもちろん、大人も子どもも楽しめるスポットがたくさん! 今号ではおすすめスポットなどを紹介します。
 ★2年間で本格運行へ移行するかを判断。本格運行には1便あたり5人以上の乗車が必要(1人あたり220円換算)

問先 (区)交通対策課 交通計画係 ☎3880-5718

この表示が目印!
 社会実験バス運行中
 六町駅 花畑桑袋団地

くわしくは6・7面へ

事例 ④ 事業名：【A-1-②】鉄道の延伸促進（地下鉄8号線）
実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施

実施状況



実施状況



PR活動を予定していた大型イベントが中止となってしまったが、新たな試みとして計画線沿線の公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を実施した。

事例 ⑤ 事業名：【B-⑥】交通安全教育
①幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施
②小学校において、小学三年生を対象とし、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施

実施状況(保育園)



実施状況(小学校)



①区内の全170園の幼稚園・保育園において、区より交通安全教室実施の募集を行い、希望のあった77園（実施率45.2%）の区内保育園・幼稚園にて実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった園もあったことから、実施できなかった園については、反射材を配布した。
②区内小学校全69校において、小学三年生を対象とした、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート講義や動画視聴を活用するなど新しい生活様式に合った方法で実施した。令和4年度は新型コロナウイルス対策を講じた上で、従来の対面で実施予定。

事例 ⑥ 事業名：【A-1-③】混雑緩和対策（つくばエクスプレス）
8両編成化事業を実施（現6両）

南千住駅



8両編成化に向け、浅草駅、南千住駅の駅ホーム延伸工事を行った。なお、区内の駅については、令和4年度から青井駅、六町駅のホーム延伸工事を進めていく。

事例 ⑦ 事業名：【B-④】自転車シェアリングの拡充
シェアサイクルを導入

設置状況(青井駅)



令和4年3月末時点の区内サイクルポート数は116か所となり、令和2年2月末の59か所から約2倍に増え、ポート数の増加に伴い月平均利用回数も令和2年2月の3,629回から21,655回へと約6倍に増加した。令和6年3月末までにさらにサイクルポートを106か所増設し、ネットワークの充実を図る。

事例 ⑧ 事業名：【C-①】都市計画道路等の整備
区画街路14号（西竹の塚二丁目）

現在の状況



令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。
事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。
また、都市基盤整備として、電線共同溝整備工事を完了した。

事例 ⑨ 事業名：【C-②】駅前広場の整備
北綾瀬駅

完成イメージ



北綾瀬駅前広場整備の都市計画決定（R3.4.19）し、事業認可を取得（R3.9.8）した。
令和6年春頃の完成を目指し、事業着手した。

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

別紙4

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A「公共交通施策」	1・鉄道	A-1-①	①事業性等の調査・研究をメトロセブン促進協議会（総会・幹事会等）で実施	3回	1回	△	令和3年7月に書面により総会を開催したが、幹事会については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催することができなかった。	
			②事業性等の調査・研究を区部周辺部環状公共交通都区連絡会等で実施	2回	1回	△	令和3年5月に書面により総会を開催した。	
			③実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PR活動を予定していたイベントが中止となってしまったため、実施できなかった。	
		A-1-②	地下鉄8号線	①沿線地域住民、議会及び行政が一丸となるため、地下鉄8号線整備促進大会を開催	1回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に続いて令和3年度の促進大会は開催できなかった。
				②地下鉄8号線沿線自治体と協調して取組を行うため、他自治体の促進会議で情報共有・交換を実施	3回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に続いて令和3年度についても他の関係自治体において促進会議は開催されなかった。
				③事業採算性の確保に向けた調査委託を実施	隔年	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公共交通機関の利用状況が低調であったため、効果的な調査結果を得ることが難しいことから、調査の実施を見送った。
				④実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	1回	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PR活動を予定していた大型イベントが中止となってしまったが、新たな試みとして計画線沿線の公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を実施した。
		A-1-③	常磐新線	自治体間の連携や鉄道事業者への要請等を沿線都市連絡協議会で実施	5回	4回	△	総会（令和3年5月21日Web開催）、第1回幹事会（令和3年12月23日書面開催）、第2回幹事会（令和4年3月18日書面開催）、勉強会・意見交換会（令和4年3月18日書面開催）の計4回実施。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会が1回中止となった。
				日暮里・舎人ライナー	②オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施	実施	実施	○
		A-1-③	つくばエクスプレス	③オフピーク通勤を促進するキャンペーンの情報発信	2回以上	通年	○	区ホームページにおいて、混雑緩和を促進する「時差Biz」を周知し、混雑緩和に関する情報発信を行った。
				④8両編成化事業を実施（現6両）	事業中	事業中	○	8両編成化に向け、浅草駅、南千住駅の駅ホーム延伸工事を行った。なお、区内の駅については、令和4年度から青井駅、六町駅のホーム延伸工事を進めていく。
				⑤オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施	実施	実施	○	「春のスムーズBiz実践期間（令和3年3月1日～令和3年5月9日）」に合わせて、都の依頼に応じ取り組みを実施した。
		A-1-④	竹ノ塚駅 北千住駅	⑥オフピーク通勤を促進するキャンペーンについて情報発信	2回以上	通年	○	区ホームページにおいて、混雑緩和を促進する「時差Biz」を周知し、混雑緩和に関する情報発信を行った。
				④踏切解消（竹ノ塚駅、北千住駅）	踏切解消完了	踏切解消完了	○	令和4年3月20日に上下緩行線（普通列車）が高架化。これにより、竹ノ塚駅付近にある2箇所の踏切が解消した。
		A-1-⑤	堀切駅	鉄道事業者と連携し、連続立体交差事業を実施	検討	検討実施	○	鉄道と道路の立体交差化の長期対策を検討するとともに、短期対策として交通の分散化の課題整理を行った。
堀切駅のバリアフリー化を進めるためにエレベーター設置を引き続き検討	検討			事業中	○	堀切駅跨線人道橋の架け替えに合わせてバリアフリー化のための架替設計委託を発注し、検討を開始した。		

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

別紙4

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A 『公共交通施策』	2 バス	A-2-①	①新たなバス需要が見込まれる文教大学、東京女子医大開設に合わせてバス路線の新設や再編を実施	運行開始	運行開始	○	東京女子医科大学附属足立医療センター開院に向け、4事業者8路線のバス路線新設・再編等を行い、令和4年1月4日に乗り入れを開始した。	
			②都市計画道路整備や新たな拠点開発などに合わせたバス路線再編等の実現のために、事業進捗に関する情報提供や路線変更の意向把握などバス事業者と連携して検討	実施	実施	○	新たな拠点開発の動向について、逐一情報収集を行い、それに伴うバスの乗り入れについて、バス事業者の意向把握を実施した。	
		A-2-②	②交通不便地域のバス路線導入	バスの検証運行実績等を基に、本格運行を実施	検証運行	検証運行実施	○	花畑周辺地域公共交通検討会にて、運行計画案を作成し、令和3年10月1日より六町駅～花畑桑袋団地間で検証運行（最大2年間、2期連続で収支率24%をクリアすると本格運行へ移行）を開始した。 また、社会実験バスの愛称については、文教大学の学生から提案された複数の愛称案を、区ホームページにて投票を行い、得票数の最も多かった「ブンブン号」に決定した。
		A-2-③	③バスのバリアフリー化	ノンステップバスを順次導入	バスの買い替えにあわせて導入	バスの買い替えにあわせて導入	○	ワンステップバスが一部残っているものの、大半の路線がノンステップバスで運行している。 また、一部事業者では、フルフラットバスが導入されるなどバスのバリアフリー化が進んでいる。
	A-2-④	④バス停の利用環境整備	「はるかぜ」のバス停にベンチや上屋、点字ブロックを設置（駅や公共施設、病院等の施設周辺のバス停に優先的に設置）	ベンチ:15箇所 点字:75箇所 (R1から3カ年)	ベンチ:5箇所 点字:33箇所 (R3実績)	○	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったため、令和3年度は予定より多く、ベンチや上屋、点字ブロックの整備を行った。また、令和4年1月の東京女子医科大学附属足立医療センター開院に伴い、利用者の増加が予想される病院周辺のバス停を優先して整備した。	
			「路線バス」のバス停に広告付上屋等を整備	実施	未実施	×	令和3年度はバス事業者が新たに上屋を整備した場所はなかった。	
	3 タクシー	A-3-①	①ユニバーサルデザインタクシーの導入	ユニバーサルデザインタクシー（スロープ付）を導入	継続導入	継続導入	○	回答待ち（導入は進んでいるが、具体的な数については5月末を目途に、東京ハイヤータクシー協会が集計中。）
		A-3-②	②配車アプリ活用等によるタクシーの利便性向上	配車を実現できるようスマホ配車アプリを導入	導入	導入	○	回答待ち（導入は進んでいるが、具体的な数については6月末を目途に、東京ハイヤータクシー協会が集計中。）
	4 その他	A-4-①	①多様な交通手段の導入	バス以外の交通手段を導入	運行計画の検討	運行計画の検討実施	○	バス以外の多様な交通手段の導入に向け、他自治体が行うバス以外の交通手段についてヒアリングを行った。また、過去のアンケートにおいて、交通不便度が高い地域とされた入谷地区及び鹿浜地区に対して、交通に関する課題やニーズを把握するため、町会自治会連合会へのヒアリングに着手した。
	B 『自転車施策』	B-①	①自転車走行環境整備	自転車専用通行帯、ナビライン、ナビマーク等の整備	花畑地区・江北地区	10,000m	12,787m	○
都市計画道路等				道路の整備に合わせ実施	1,910m	○	区では、所轄警察署の要望等により自転車事故のあった路線（補助253号、葛西用水桜通り）に自転車ナビマークを計1780m設置した。また、交通管理者が千住地域において自転車ナビマークを130m設置し、自転車ナビラインも交差点部に設置した。	
B-②		②自転車駐車場の整備	自転車の利用状況や民間自転車駐車場の設置状況を勘案して、区営の自転車駐車場の新設・改修	1箇所	1箇所	○	以前からキャンセル待ちのある江北駅西第2自転車駐車場について、道路管理者（第六建設事務所）・警視庁との協議が完了したので拡張工事を実施した。	
B-②		「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度を活用した民営自転車駐車場の新設	2箇所	2箇所	○	設置費申請2件ともに、駐輪場が特に不足している北綾瀬駅周辺地区への設置であった。		
B-③	③サイクルアンドバスライドの普及啓発	サイクルアンドバスライドに関する情報を発信	実施	実施	○	令和3年4月に新規開設された神明南自転車駐車場について、区ホームページにて周知し、利用促進に努めた。		

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

別紙4

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
B 『自転車施策』	④自転車シェアリングの拡充	B-④	シェアサイクルを導入	実証実験	実施	○	令和4年3月末時点の区内サイクルポート数は116か所となり、令和2年2月末の59か所から約2倍に増え、ポート数の増加に伴い月平均利用回数も令和2年2月の3,629回から21,655回へと約6倍に増加した。 令和6年3月末までにさらにサイクルポートを106か所増設し、ネットワークの充実を図っていく。	
	⑤放置自転車対策	B-⑤	街頭指導員による駐車場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施	実施	実施	○	街頭指導員による駐車場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、交通管理者と連携し自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施。 放置自転車対策の一環である「自転車の無料引き取り」を引き続き実施。	
	⑥交通安全教育	B-⑥	①幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施	170園	77園	△	区内の全170園の幼稚園・保育園において、区より交通安全教室実施の募集を行い、希望のあった77園の区内保育園・幼稚園にて実施（実施率45.2%）。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった園もあったことから、実施できなかった園については、反射材を配布した。	
			②小学校において、小学三年生を対象とし、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施	69校	69校	○	区内小学校全69校において、小学三年生を対象とした、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート講義や動画視聴を活用するなど新しい生活様式に合った方法で実施した（令和4年度は新型コロナウイルス対策を講じた上で、従来の対面で実施予定）。	
			③中・高等学校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施	14校	12校	△	区立中学校11校、都立高等学校1校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中学校1校、閉校予定のため高等学校1校が中止となった。なお、中止となった中学校については後日、警察署主催のスタントマン教室を実施したため、結果的に体験することができた。	
④大人向けに（高齢者を含む）、全住区センター（子育てサロン含む）で交通啓発活動を実施	114回	2回	△	例年、住区センター（子育てサロン含む）で開催される催しに合わせて、交通安全啓発活動を行っているが、令和3年度は多くの実施日がまん延防止重点措置期間と重なり、施設の利用制限等により住区センターのイベントが中止となり、啓発活動が困難となった。 令和4年3月のまん延防止重点措置期間終了後、2箇所の住区センター（高齢者向け、子育て世代向け各1回）において、交通安全講話を実施し、反射材等を配布した。				
C 『交通基盤整備施策』	①都市計画道路等の整備	C-①	都市計画道路等の整備	補助138号 (関原三丁目～梅田五丁目)	完了	事業中	○	令和3年3月17日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 排水施設整備工事、水道工事が完了し、続けてガス工事が予定通り工事着手し、令和4年4月に完了予定。 ガス工事完了後に電線共同溝工事に着手できるよう発注、契約した。
				区画街路14号 (西竹の塚二丁目)	事業中	事業中	○	令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。 また、都市基盤整備として、電線共同溝整備工事を完了した。
	②駅前広場の整備	C-②	駅前広場の整備	竹ノ塚駅西口	事業中	事業中	○	令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。
				竹ノ塚駅東口 西新井駅西口 北綾瀬駅	事業化 検討	検討実施・事業中	○	竹ノ塚駅東口について、URや東武鉄道と駅東西が一体となったまちづくりの検討を実施。 西新井駅西口については、駅前広場整備の基本設計の完了に合わせて事業認可取得を東京都に申請した。 北綾瀬駅については、駅前広場整備の都市計画決定（R3.4.19）し、事業認可を取得（R3.9.8）した。令和6年春頃の完成を目指し、事業着手した。

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

別紙4

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項
分類	事業名				実績	達成状況	
D 『公共交通利用促進施策』	①モビリティ・マネジメントの実施	D-①	公共交通情報の提供等の利用促進啓発活動の実施	促進活動の実施	実施	○	利用促進を図るため、六町駅周辺（社会実験バス「フンブン号」）や東京女子医科大学附属足立医療センター周辺に乗り場案内を設置した。 また、区HPやSNSでの発信、広報誌で特集を組むなど、幅広い世代の方々に対し、新規路線などの周知を図った。
	②バス利用者へのサービス向上	D-②	①ICカード定期券の導入	導入検討	導入検討	△	未導入の事業者でICカード定期券やタッチ回数券の導入について検討を行ったが、費用対効果の面から導入が難しい状況である。 なお、ICカード定期券に加えて、モバイルSuicaやモバイルPASMOを導入している事業者もあり、バス利用者へのサービス向上を図っている。
			②乗継割引の導入	導入検討	導入検討	△	一部バス事業者において検討を行ったが、費用対効果の面から導入が難しい現状。 都営バスの乗継割引は、令和3年9月末をもって終了した。令和3年10月からは、都営バスに乗り継ぐ際にポイントを付与する新たなサービス（ToKoPo）が開始され、利用者の利便性向上を図った。
	③バス位置情報の提供	D-③	①インターネット上における位置情報の提供	導入検討	導入	○	足立区内で運行している7事業者のうち、未導入であった1事業者が令和3年12月から運用開始となり、全ての路線をインターネット上において、バス接近情報を確認することが出来ることとなった。
			②バス停におけるバスロケーションシステムの設置 (主要駅や公共施設周辺等のバス停)	1箇所	0箇所	△	当初、区役所前ロータリーのはるかぜバス停柱に位置情報を表示する予定であったが、都営バスの接近情報がオープンデータ化（二次利用が可能なルールで公開されたデータ）され、はるかぜと併せて表示することが可能となったため、バス停ではなく、本庁舎内出入り口付近にバスの接近情報を掲載したサイネージを設置することとした。方針転換に伴い、令和3年度中の設置には至らなかったが、令和4年度7月以降に設置できるよう、関係機関と調整を行った。 北千住駅に平成30年度に設置した、バスの接近情報を表示するバス停モニターの改修を行い、画面の大きさを1.8倍にすることで、利用者がより視認しやすいモニターとした。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

<p>件名</p>	<p>【追加】日暮里・舎人ライナーの災害対策等に関する東京都交通局への要望について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>都市建設部交通対策課</p>
<p>内容</p>	<p>令和3年10月に発生した地震による脱輪や、令和4年1月及び3月の降雪等による交通支障を受け、東京都交通局へ日暮里・舎人ライナーの災害対策等の更なる強化に関する要望を行ったため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 概要 要望日：令和4年6月10日（金）午後4時30分 場所：東京都庁 交通局会議室 参加：東京都交通局 安全管理担当部長、総務部安全対策推進課長、 電車部営業課長、電車部運転課長、 総務部事業推進担当課長 足立区 都市建設部長、交通対策課長</p> <p>2 要望内容（別紙1参照 P30） （1）地震による脱輪事故の原因等については、引き続き国の運輸安全委員会で調査中であるが、東京都交通局で公表した被害軽減策等、可能な限り早期に対策を実施すること。 ※ 参考「地震発生時の日暮里・舎人ライナーの被害軽減策について」（別紙2参照 P31～32） （2）降雪等、様々な気象状況においても、可能な限り安定した運行を行うため、各種の対策を講じること。 （3）昨今の刺傷事件等を受け、国土交通省による検討等が行われているが、対応可能なものから、早期に防犯対策の強化を進めること。</p> <p>3 東京都交通局回答要旨 （1）緊急地震速報を受けて自動停止する機能の追加は、すでに昨年度中に完了。分岐部走行路の段差解消工事を、国の認可を得た上で令和4年度中に完了する予定。引き続き運輸安全委員会の調査に協力し、安全確保に努める。</p>

	<p>(2) 現在、勾配が大きい路面等に設置したロードヒーターの作動、車両に付けた除雪用ブラシによる除雪、凍結防止剤の散布等を行っている。今後とも、今年の降雪の経験を踏まえ、気象情報を確認しながら雪害対策を図っていく。</p> <p>(3) 駅員等による巡回、非常通報器による通報協力に関する周知、通報器の位置表示の改善、暴漢対策用具の充実に取り組んできた。今後は、車両の更新に合わせて車内への防犯カメラの設置を進めるとともに、令和6年度までに、更新前の車両を含め全車両への設置を目指す。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>すでに各種の対策を進めていることを伺った。今後も、対策の実施状況を確認していくとともに、引き続き、区として必要な協力や、働きかけを行うなど都と連携して公共交通の利便性・安定性の向上に努める。</p>

日暮里・舎人ライナーの災害対策等の更なる強化に関する要望書

平素より、本区行政にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、コロナ禍においても足立区民の生活を支える重要な公共交通として、日暮里・舎人ライナー運行の維持継続に努めていただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

さて、令和3年10月7日に発生した地震による脱輪事故並びに、令和4年1月6日や3月23日の降雪時の運行見合わせなど、輸送障害が続けて発生しました。また昨今、小田急線や京王線での刺傷事件など、電車内での事件が相次いで発生しており、自然災害や防犯に関する対策強化の重要性が増していると考えております。

つきましては、すでに様々な対策を講じていらっしゃるものと存じますが、次の事項について要望させていただきます。

貴局におかれましては、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 地震による脱輪事故の原因等については、引き続き国の運輸安全委員会で調査中と伺っておりますが、貴局で公表された被害軽減策等、可能な限り早期の対策実施を要望いたします。
- 2 降雪等、様々な気象状況においても、可能な限り安定した運行をしていただけるよう、各種の対策を講じていただくよう要望いたします。
- 3 昨今の刺傷事件等を受け、国土交通省による検討等が行われていると伺っておりますが、対応可能なものから、早期に防犯対策の強化を進めていただけるよう要望いたします。

令和4年5月30日

東京都交通局
安全管理担当部長
太田 純也 様

足立区
都市建設部長
犬童 尚



令和 4 年 2 月 2 4 日
交 通 局

地震発生時の日暮里・舎人ライナーの被害軽減策について

令和 3 年 1 0 月 7 日（木）に千葉県北西部を震源とする地震が発生した際、日暮里・舎人ライナーでは列車の運休が発生するなど、ご利用のお客様に大変ご迷惑、ご不便をおかけしましたことをあらためてお詫び申し上げます。

被害発生の原因等については、引き続き国の運輸安全委員会で調査中ですが、東京都交通局においても地震発生時の被害軽減策を以下の通り実施することとしましたので、お知らせします。

1 緊急地震速報時の自動停止機能の追加

(1) 実施内容

緊急地震速報を受信した際、自動で列車を一斉停止させる機能を追加

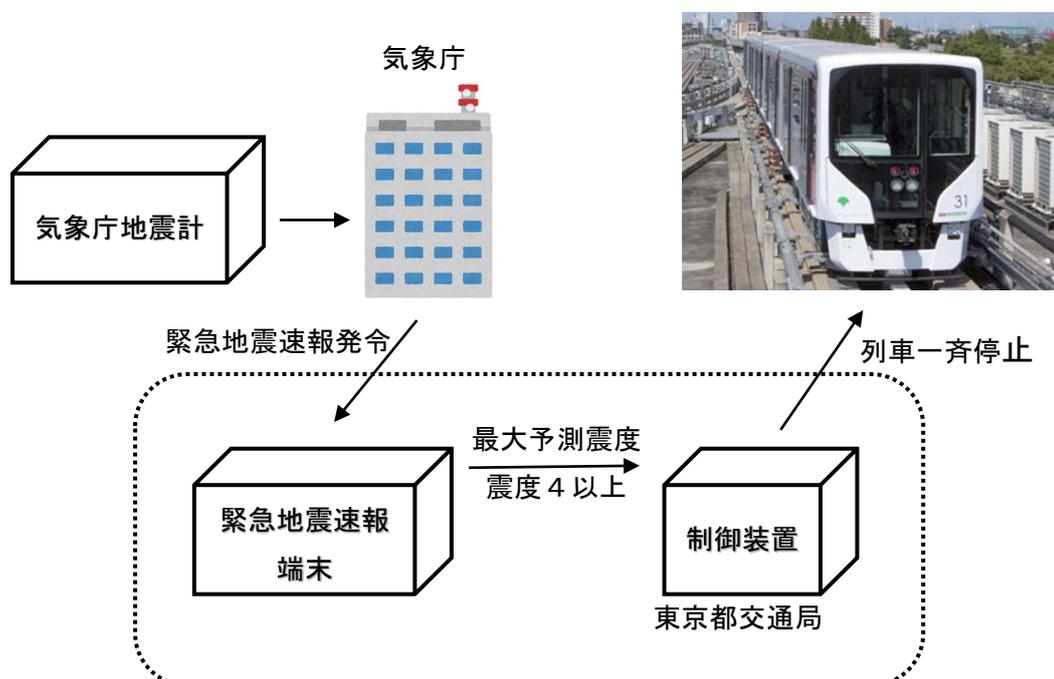
（現在：緊急地震速報を受信した際、手動で列車を一斉に停止する操作を速やかに実施）

(2) 目的

地震発生時に、より迅速に列車を減速・停止させることで、発災時の安全性を向上してお客様を保護

(3) 実施時期

令和 3 年度中に完了予定



▲ 緊急地震速報受信時の列車一斉停止(イメージ)

2 分岐部の走行路中央部の段差解消

(1) 実施内容

分岐部の走行路において、“へこみ部”の段差を解消する部材を設置

※へこみ部：走行路中央のくぼんだ部分を指す。



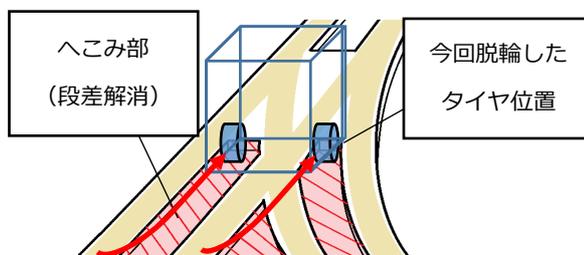
▲ へこみ部の例

(2) 目的

段差解消により、万一脱輪した際の衝撃を緩和することで、発災時の安全性を向上してお客様を保護

(3) 実施時期

令和3年度中に国への認可申請手続きに着手し、令和4年度中に完了予定



▲ 段差解消の一例 (イメージ)

お問い合わせ先 都営交通お客様センター 03-3816-5700 (9:00~20:00 年中無休)

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

件名	竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室鉄道関連事業課
内容	<p>竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業 高架化記念式典の開催結果について</p> <p>(1) 日時 令和4年6月12日(日) 午前10時から</p> <p>(2) 場所 区立第十四中学校 体育館</p> <p>(3) 出席者数 約160名</p> <p>(4) 主な来賓者 ア 国土交通大臣政務官 イ 東京都 都市整備局長 ウ 絵画コンクール金賞受賞者(各小学校児童)</p> <p>(5) 主な内容 ア 高架化までの歩み DVD上映 イ 絵画コンクール金賞受賞者紹介 ウ くす玉開花 エ 足立区立第十四中学校吹奏楽部による祝賀演奏</p> <p>2 竹ノ塚駅付近鉄道高架化に関する主な経過について (別紙1参照 P36)</p> <p>3 鉄道高架化工事の進捗状況について (別紙2参照 P37)</p> <p>(1) 今年度の主な工事 ア 引上線高架化工事 イ 軌道工事 ウ 仮設ホーム及び仮設地下通路撤去工事 エ 赤山街道ほか道路整備工事</p> <p>(2) 来年度の主な工事 ア 引上線高架化工事 イ 軌道工事</p> <p>※ 令和6年3月 鉄道高架化事業完了予定</p>

4 第37号踏切跡（赤山街道）における道路整備工事について

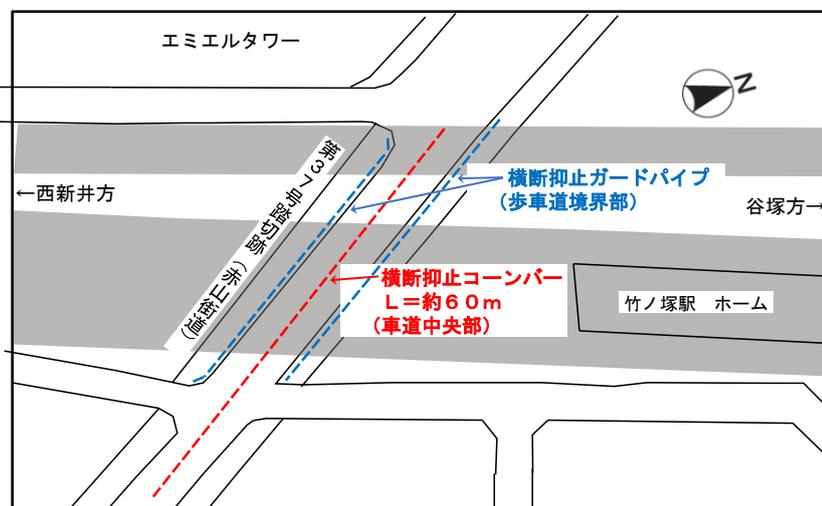
(1) 整備内容

車道・歩道の舗装工事、横断抑止施設の設置等

(2) 整備時期

令和4年9月中旬～令和5年1月下旬（予定）

(3) 設置位置



横断抑止施設の設置位置図

5 区画街路第14号線の進捗状況について

(1) 今年度の主な内容

ア 電力通信企業者電線類地中化工事

イ 用地取得

(2) 来年度以降の主な工事

ア 街築工事（街路部）

イ 暫定整備（駅広部）

	<p style="text-align: center;">案内図</p> <p>The diagram is a site plan for the Takekoma Station area. It is divided into two main sections: '駅広部' (Station Expansion Area) on the left and '街路部' (Street Area) on the right. A blue line indicates the '電力通信企業者電線類地中化工事' (Cable undergroundization work by utility/telecom companies). A red line outlines the '区画街路第14号線' (Block Street No. 14). A vertical line on the right side is labeled '補助第261号線' (Subsidy No. 261 Street). At the bottom, the '竹ノ塚駅' (Takekoma Station) is shown with its platform, and the '鉄道高架橋' (Railway Viaduct) is indicated by a vertical arrow. A north arrow is located in the top right corner.</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。</p>

竹ノ塚駅付近鉄道高架化に関する主な経過について

工事着手までの主な経過

年	月	出来事
昭和 55 年	7 月	竹ノ塚駅南側踏切鉄道高架化の請願採択（区議会）（7 日）
平成 16 年	6 月	踏切対策基本方針（東京都）の策定
平成 17 年	3 月	37 号踏切事故発生（15 日 16:50 分頃、4 名死傷）
	4 月	鉄道立体化を求める要望書等を区長、議長及び地元代表者が国土交通大臣に提出（7 日）
	6 月	第 1 回竹ノ塚駅付近道路・鉄道立体化検討会（22 日） （国土交通省、東京都、足立区、東武鉄道、東京地下鉄）
	9 月	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会結成大会（30 日）
平成 18 年	4 月	連続立体交差事業の調査が国庫補助採択（翌年 4 月に着工準備採択）
平成 21 年	6 月	都市計画素案説明会開催（23・25 日）
平成 22 年	4 月	都市計画案及び環境影響評価書案説明会開催（20・21 日）
平成 23 年	3 月	都市計画決定、環境影響評価書公示（31 日）
	12 月	事業認可（20 日）
平成 24 年	3 月	東武鉄道と施行協定を締結（30 日）
	11 月	起工式（4 日）

工事着手後の主な経過

年	月	工事内容等
平成 24 年	11 月 ～	家屋事前調査
平成 25 年	3 月 ～	側道付替工事、栗六公園改修工事
	11 月 ～	高架橋工事、仮設地下道関係工事
平成 26 年	4 月	西口新バス乗降場所供用開始（14 日）
	6 月 ～	仮線切替工事（8 回）
平成 27 年	3 月	講演会並びに献花式（15 日）、インフォメーションコーナー開設（31 日）
	10 月	（草加工区）上りホーム（9 日）、下りホーム（14 日）供用開始
平成 28 年	5 月	下り急行線レールワーク開催（8 日）、下り急行線高架化（29 日）
	11 月	仮設地下自由通路開通（30 日）
平成 29 年	8 月	下り緩行線仮移設、仮設地下改札・仮ホーム供用開始、橋上駅舎の閉鎖、踏切（37・38 号）の中島化（27 日）
平成 30 年	9 月	上り緩行線仮移設、上下線ともに仮ホームに接続（23 日）
平成 31 年 ・令和元年	1 月	事業認可変更（事業期間 3 年延伸）（7 日）
	6 月	上り急行線仮移設（29 日）
令和 2 年	9 月	上り急行線高架化（26 日）
令和 4 年	3 月	営業線全線高架化と踏切解消及び新駅舎供用開始

今後の予定

年	月	工事内容等
令和 6 年	3 月	引上線高架化（事業完了）

東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業 鉄道高架化工事のお知らせ

別紙2

令和4年6月
東武鉄道竹ノ塚工事事務所

工事工程予定表

- 《Ⅰ工区》
軌道工事として、7月から、上り急行線軌道移設(昼夜間)を行い、9月から、旧仮線軌道撤去(昼間)を行います。
道路工事として、9月から、区道復旧関連工事(昼夜間)を行います。
- 《Ⅱ工区》
高架橋工事として、引き続き、下り線高架橋柱盛替え(昼夜間)を行います。
道路工事として、9月から区道復旧関連工事(昼夜間)を行います。
- 《Ⅲ工区》
建築工事として、引き続き、西側防風壁設置(昼夜間)を行います。
付帯工事として、引き続き、仮ホーム・仮駅舎・仮地下道撤去(昼夜間)、赤山街道部西側防護柵設置(昼夜間)を行います。
道路工事として、引き続き、赤山街道部道路関連工事(昼夜間)を行います。
- 《Ⅳ工区》
高架橋工事として、引き続き、引上線高架橋構築(昼夜間)を行います。
付帯工事として、引き続き、支障物撤去(昼夜間)を行います。

工事概要		7月	8月	9月	連絡先
Ⅰ工区	軌道工事	上り急行線軌道移設(昼夜間)			東急・東武JV TEL 03-3858-3501
	道路工事			旧仮線軌道撤去(昼間)	
Ⅱ工区	高架橋工事	下り線高架橋柱盛替え(昼夜間)			大成・東武JV TEL 03-5838-1033
	道路工事			区道復旧関連工事(昼夜間)	
Ⅲ工区	建築工事	西側防風壁新設(昼夜間)			鹿島・東武谷内田・熊谷・東鉄JV TEL 03-5809-5450
	付帯工事	仮ホーム・仮駅舎・仮地下道撤去(昼夜間)			
		赤山街道部西側防護柵設置(昼夜間)			
道路工事	赤山街道部道路関連工事(昼夜間)				
Ⅳ工区	高架橋工事	引上線高架橋構築(昼夜間)			大林・東武・鉄建・戸田JV TEL 03-5647-8657
	付帯工事	支障物撤去(昼夜間)			

※事業完了は令和5年度末を予定しています。

ご協力をお願いします



- 夜間や休日も作業を行ってまいります。工事の内容につきましては、チラシ等でお知らせいたします。
- 騒音・振動の抑制に努めるとともに、事故のないよう安全第一で、工事を進めてまいります。



①西新井方 工事状況



②大踏切部の状況



③谷塚方 工事状況

全体平面図



※本資料についてご不明な点は、東武鉄道竹ノ塚工事事務所(TEL03-6807-1461)(FAX03-6807-1367)にお問い合わせください。また、各工区の詳細は各工区の連絡先までお問い合わせ願います。
※事業についてご不明な点は、足立区鉄道立体推進室(TEL03-3880-5484)(FAX03-3880-5605)にお問い合わせください。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

件名	有楽町線（地下鉄8号線）の整備促進に向けた取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室鉄道関連事業課
内容	<p>有楽町線（地下鉄8号線）整備促進に向けた取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 有楽町線（地下鉄8号線）に関する主な経過について （別紙参照 P39）</p> <p>2 今後の取組みについて 令和4年度の地下鉄8号線整備促進大会については、新型コロナウイルス感染症の影響を確認しながらではあるが、実施に向けて準備を行う。また、地域での機運醸成にも取り組んでいく。</p> <p>※ 参考 平成28年4月 交通政策審議会 第198号答申（抜粋） 東京8号線の延伸（押上～野田市） 【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業性に課題があり、複数の都県を跨がる路線であるため、関係地方公共団体等が協調して事業性の確保に必要な沿線開発の取組等を進めた上で、事業主体を含めた事業計画について十分な検討が行われることを期待。 ・ なお、茨城県が、東京の都市機能のバックアップ等の観点から、東京都心と近隣地域（茨城県西・南部地域）とのアクセスを改善する道路・鉄道網の強化策として、更なる延伸について検討している。
問題点 今後の方針	<p>1 答申に示された課題の整理と問題点の検討を行っていく。</p> <p>2 早期実現に向けて、様々な方策を検討し地域機運の醸成を図っていく。</p>

有楽町線（地下鉄8号線）に関する主な経過について

年	月	内 容
昭和47年	3月	都市交通審議会答申第15号 亀有まで位置づけ（目標年次：昭和60年）
昭和60年	7月	運輸政策審議会答申第7号 今後検討すべき方向として、亀有から先、武蔵野線方面が位置づけ（目標年次：平成12年）
平成8・9年度		地元代表者が東京都知事・運輸大臣へ陳情
平成8年	2月	「区東部地域の鉄道網整備に関する基礎調査」を実施
平成10年	8月	「地下鉄8号線誘致に関する勉強会」開催
平成11年	3月	地元代表者が運輸大臣へ陳情
	11月	運輸大臣・東京都知事あて陳情書提出
平成12年	1月	運輸政策審議会答申第18号 豊洲から野田市までがA2路線（平成27年までに整備着手することが適当である路線）と位置づけ
平成18年	11月	足立区議会が国土交通大臣・東京都知事あて要望書提出
平成22年	12月	東京都都市整備局へ取組状況報告及び要請活動
平成23～26年度		国土交通省鉄道局・東京都都市整備局へ取組状況報告及び要請活動
平成23年	12月	「足立区総合交通計画」に地下鉄8号線整備促進を位置づけ
		「足立区議会地下鉄8号線整備促進議員連盟」発足
平成24～30年度		各年度に「地下鉄8号線整備に向けた調査」を実施
平成26年	2月	「地下鉄8号線整備促進に向けた講演会」開催
	11月	東京都知事へ要請活動
平成26～27年度		国土交通大臣へ足立区を含む沿線自治体で要請活動
平成27年	11月	国土交通大臣へ要請活動及び地域住民から53,497筆の署名を手渡し
	12月	東京都都市整備局へ取組状況報告及び要請活動
平成28年	1月	「地下鉄8号線整備促進に向けた講演会」開催
	4月	交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」東京8号線（有楽町線）の延伸（押上～野田市）が、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置づけられた。
平成30年	3月	沿線小学校4・5年生を対象にPRイベント「ゲーム シムシティ・ビルドイットでまちをつくろう」を実施
令和2～3年度		「地下鉄8号線整備促進大会」の開催中止（新型コロナウイルスの影響）
令和3年	1月	応援メッセージなどを含むPR動画を作成し、SNS等で発信
	7月	国土交通省交通政策審議会小委員会において出された「東京圏の地下鉄ネットワークのあり方」の答申の中で、地下鉄8号線（豊洲～住吉）の整備に関して、「事業主体の選定や費用負担の調整を早急に進め、早期の事業化を図るべき」とされる。
	11月	佐野図書館と連携し、地下鉄8号線のPR展示を実施
令和4年	3月	国土交通省から、「有楽町線延伸（豊洲・住吉間）」の第一種鉄道事業申請について許可される。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年7月1日

<p>件 名</p>	<p>メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>鉄道立体推進室鉄道関連事業課</p>
<p>内 容</p>	<p>メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 メトロセブンに関する主な経過について（別紙参照 P 4 2）</p> <p>2 令和4年度区部周辺部環状公共交通都区連絡会の開催結果について 令和4年度区部周辺部環状公共交通都区連絡会が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、Web 会議により開催されたので報告する。</p> <p>（1）日 時 令和4年5月24日（火） 午前10時から （2）会員の構成 ・ 東京都 ・ 大田区、世田谷区、杉並区、練馬区、板橋区、北区、足立区、葛飾区、江戸川区 （3）主な決議事項 ・ 都区連絡会設置要綱の改定について ・ 令和3年度都区連絡会検討報告及び今後の進め方について</p> <p>3 令和4年度環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会総会の開催について</p> <p>（1）日 時 令和4年7月12日（火） 午後2時30分から （2）場 所 タワーホール船堀（江戸川区船堀四丁目1-1） （3）会員の構成（足立区・葛飾区・江戸川区） 3区の区長、副区長、区議会正副議長、交通問題を所管する委員会の委員及び区議会の推薦者 （4）主な決議事項 ・ 令和3年度事業報告、決算報告、監査報告 ・ 令和4年度事業計画案、予算案 ・ 活動報告</p>

4 今後の取組みについて

新型コロナウイルス感染症の影響で、区イベント等の機会での啓発活動が難しいことから、地域での機運醸成に取り組んでいく。

※ 参考 平成28年4月 交通政策審議会 第198号答申（抜粋）

区部周辺部環状公共交通の新設（葛西臨海公園～赤羽～田園調布）

【課題】

- ・ 事業性に課題があるため、関係地方公共団体において、事業計画について十分な検討が行われることを期待。
- ・ また、高額な事業費が課題となると考えられることから、需要等も見極めつつ中量軌道等の導入や整備効果の高い区間の優先整備など整備方策について、検討が行われることを期待。

問題点
今後の方針

- 1 答申に示された課題の整理と問題点の検討を行っていく。
- 2 早期実現に向けて、様々な方策を検討し地域機運の醸成を図っていく。

メトロセブンに関する主な経過について

年	月	内 容
平成 7 年	11 月	東京都知事へ要請活動 ※以後、平成 10 年度まで継続実施
平成 9 年	4 月	エイトライナー促進協議会と連携宣言
平成 10 年	1 月	「足立区公共交通整備基本計画」で、メトロセブンを今後優先して整備促進を図って行くべき路線として位置づけ
	8 月	エイトライナー・メトロセブン合同促進大会及び大臣への要請活動 ※以後、平成 16 年度まで継続実施
	10 月	東京都知事へ要請活動
	11 月	都の要望路線として、要望順位 I（鉄道網充実のため整備すべき路線）に位置づけ
平成 11 年	8 月	運輸大臣へ要請活動
平成 12 年	1 月	運輸政策審議会答申第 18 号 区部周辺部環状公共交通が B 路線と位置づけ（B 路線：今後整備を検討すべき路線）
	8 月	区部周辺部環状公共交通都区連絡会設置
平成 13～14 年度		地下鉄としての導入可能性の検討
平成 15～16 年度		地上系システムの導入可能性の検討
平成 17～18 年度		地下鉄・地上系交通システムの比較検討
平成 19～20 年度		地下鉄整備における段階的整備の区間分割及び整備順序案の検討
平成 21～23 年度		コスト縮減策や運行計画の深度化、需要予測、費用便益分析、収支採算性の検討
平成 23 年	12 月	「足立区総合交通計画」にメトロセブン整備促進を位置づけ
平成 24 年	1 月	18 号答申フォローアップ調査自治体ヒアリング（関東運輸局）
平成 24 年度		地下鉄整備事業費の精査や技術開発等を見据えてのコスト縮減策の検討
平成 25 年度		技術開発を見据えた輸送システム整備の検討や過年度調査結果の確認及び整理
平成 26 年度		過年度の調査結果及び更なるコスト縮減策、次期答申を見据えた考察を整理
平成 27 年	3 月	国土交通大臣、東京都知事へ要請活動
平成 28 年	4 月	交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」 区部周辺部環状公共交通の新設（葛西臨海公園～赤羽～田園調布）が、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置づけられた。
平成 30～令和 2 年度		メトロセブンに係る中量軌道の課題整理、システム検討
令和 2～3 年度		区部周辺部環状公共交通都区連絡会を书面開催（新型コロナウイルスの影響）
		環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会総会を书面開催（新型コロナウイルスの影響）